賛助会員のお願い

公益財団法人パブリックリソース財団
賛助会員のお願い

賛助会員として、弊財団の組織基盤強化にご支援くださいますようお願い申し上げます。

【賛助会員制度の概要】

①賛助会費の使途：賛助会費は、全額、弊財団の運営経費として活用させていただきます。

②お申込み単位：(個人) 1口 年1万円、(法人) 1口 年10万円とし、何口でも可。

③弊財団の賛助会費は、税制優遇の対象となります。
お申し込みいただいた皆様には、税務申告用に弊財団発行の領収書を郵送でお送り申し上げます。

④賛助会員の特典：

・ご希望に応じ、寄付およびその他の社会貢献の方法について、個別相談の機会を活用いただけます。
(2回目以降は有料となる場合があります。)

・弊財団のメーリングリストに登載し、メルマガ等で最新の情報をお届けいたします。

・弊財団の出版物を優待価格で購入できます。

・弊財団が主催、共催する研修会、セミナー等に優待価格で参加できます。

【お申し込み方法】

オンラインの場合

弊財団のホームページからオンライン寄付サイトGive One(ギブワン)へ移り、
Give Oneシステムで賛助会員のお申し込みがいただけます。

銀行振り込みの場合

1.「賛助会員申込書」にご記入の上、以下にお送りください。
(「賛助会員申込書」は当財団ウェブサイトからダウンロードいただけます)

公益財団法人パブリックリソース財団
メール：center@public.or.jp　　Fax：03-5540-1030

2. 最寄りの金融機関でお振込をお願いいたします。

ジャパンネット銀行 (銀行コード：0033)
はやぶさ支店(支店コード：003)
口座番号：普通預金　1872673
口座名義：公益財団法人　パブリックリソース財団寄付金口
フリガナ：ザイ)パブリックリソースザイダンキフキンクチ

公益財団法人パブリックリソース財団
〒104-0043 東京都中央区湊2丁目16-25　ライオンズマンション鉄砲洲第3 202号
まずはお電話またはメールで お問い合わせください
TEL:03-5540-6256　FAX:03-5540-1030
E-mail:center@public.or.jp　HP:www.public.or.jp

編集:中村 未絵
デザイン:山田 健三

20th 笑顔をつなげて20年
Public Resource PRF

Public Resources Foundation

— 2021年度事業報告書 —

公益財団法人 パブリックリソース財団

ごあいさつ

2000年1月にパブリックリソースセンターを創設し、「パブリックリソース（Public Resources）」という概念を打ち出してから20年を超えました。“意志ある寄付で社会を変える”をミッションに掲げ、寄付者の持つ社会貢献の志を実現する「あなたの財団」となって9年です。

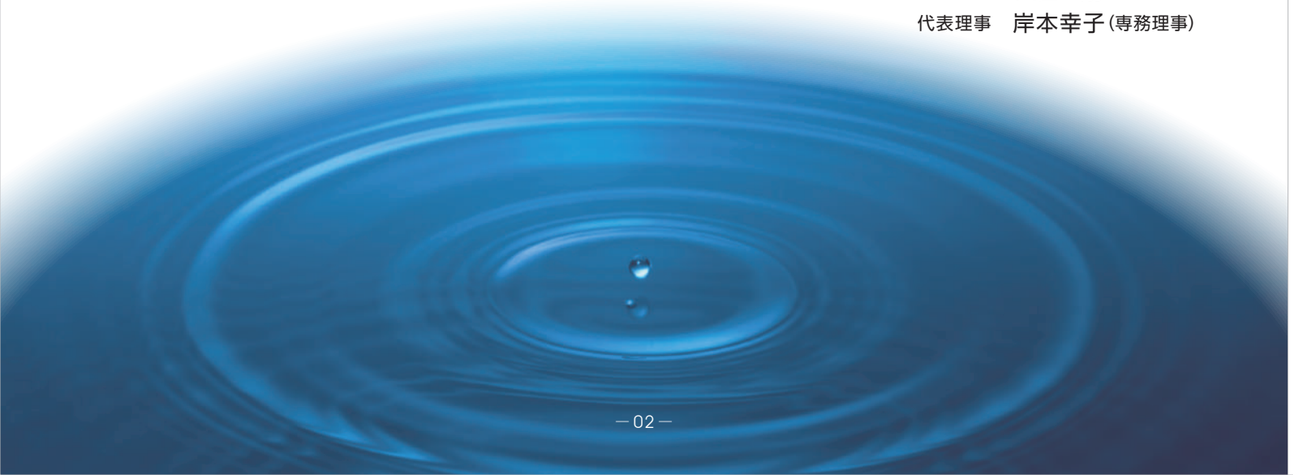
私たちが向き合う“顧客”は寄付者です。寄付者の社会貢献の想いを、共感をもって傾聴し、解決すべき社会的課題を明らかにし、「オリジナル基金®」を創設して、NPOや社会的企業あるいは将来ある若者に助成金、奨学金という形で資金を届け、実現を希望される新たな価値と社会を創造していきます。
NPOや社会的企業などは、私たちの“パートナー”です。パートナーの活動を通じて、寄付者の想いを実現していくのです。その活動の成果を寄付者にフィードバックするとき、寄付者には寄付を通じて自らの社会貢献を実感していただけます。
「ドナーファースト」、寄付者基点の財団として、寄付者とパートナーを結び付け、ともに新たな価値と社会を創造することが私たちの役割です。

2020年以降、新型コロナウイルスによって、多くの人々の生命が脅かされ、さらには、経済・社会活動が制限され、暮らしの危機と苦しみに直面する人々が、私たちの想像をはるかに超えて広がっています。現在もコロナ禍による生活困窮や不安は深く広く社会に浸潤しています。
2021年には、ロシアによるウクライナ侵攻により第2次大戦以降の国際社会と平和の枠組みが揺らいでしまっています。国際協調による人類の共生という理想が瓦解しつつあり、挫折感や孤立感が広がっています。
一方で、幾多の疫病や災害、あるいは理想の毀損に直面したとき、人類は英知と勇気、連帯と抵抗によって困難を乗り越えてきた歴史があります。
コロナ禍の2020年度にパブリックリソース財団に託された寄付金は前年の4倍を超え、寄付件数は10万件に達し、寄付者層がかつてなく拡大しました。助成金の額も12億円を超え、助成財団センターによる集計では、助成財団ベスト100のうちで第8位にランクされました。
2021年度にも、寄付や遺贈により、人々を支えようとする人々の輪は確実に広がってきました。
人類の本質にある「分かち合いの精神」「人間愛を基本とした利他性」は、コロナ禍で深まった「不安」や「孤立」、「憎しみ」や「分断」という人類社会の危機を克服することを可能します。
寄付者お一人おひとりの想いや志が広がるとき、誰一人も希望を失わず、ともに生きられる新しい社会に近づくのだと信じています。

弊財団の9年目・2021年度の実績と、寄付者や協力者の皆様の声を取りまとめましたので、ご高覧ください。平素のご支援、ご協力に感謝し、引き続きのご支援、ご指導をお願い申し上げます。

2022年冬

公益財団法人パブリックリソース財団
代表理事　久住　剛（理事長）
代表理事　岸本幸子（専務理事）



パブリックリソース財団のミッション、役割、ビジョン、大切にする価値

私たちのミッション：意志ある寄付で社会を変える

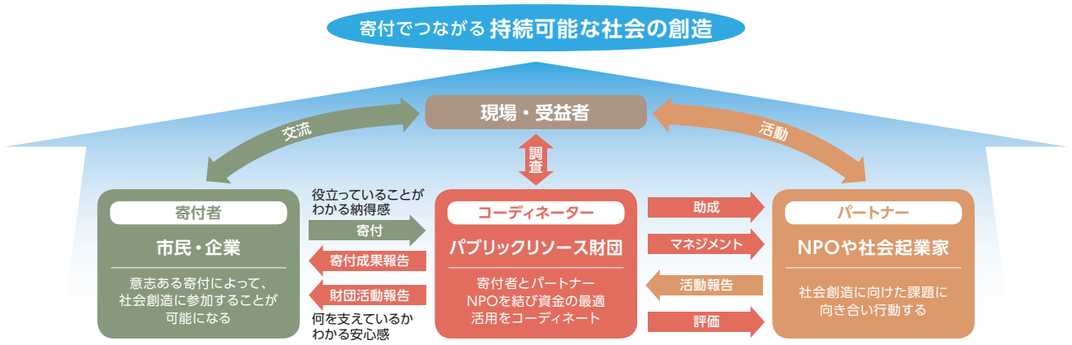
私たちは、誰の心のなかにも、「誰かの力になりたい」という「まごころ」があることを信じています。
ひとつの水滴が大きな波紋を描くように、ひとりの力、ひとつの寄付は小さくとも、より良い社会を創りたいという意志ある人びとや企業の寄付を結集することで、いのちと尊厳が守られる持続可能な社会を創造します。
パブリックリソース財団は、多くの市民や企業の参加による「新しい形の財団」であり、インパクトある寄付をプロデュースする寄付推進財団です。

私たちは、「あなたの財団」です

私たちは、寄付者の志を、NPOや社会起業家をつなぎ、より良い社会を創る「あなたの財団」です。

私たちは、
- 寄付者の社会貢献の実現をサポートするフィランソロピー・コンサルタントとして
- 寄付者の寄付を原資として、助成を行い、NPO・社会起業家を支援する助成財団として
- NPO等の寄付適格性を診る評価・格付機関として

寄付して終わりではなく、手ごたえを感じ、成果を見届けられる寄付を実現します。



私たちのビジョン：誰もが持てるものの1%をよりよい社会のために貢献する社会

今、日本の経済力は低下し、かつて分厚かった中間層が崩壊し、経済的格差が拡大しています。夫婦と子どものいる世帯は全体の25%にとどまり、終身雇用制は姿を消し、家族や企業が担ってきた社会保障の土台が崩れました。
また地球環境問題のこれ以上の悪化を食い止めるために、イノベーションと、一人ひとりのライフスタイルの転換が求められています。日本社会は民間非営利のソーシャルセクターによる、あらたな支え合いの仕組みと価値創造を必要としています。
一方で、多くの人々が築いてきた日本人の個人の金融資産は、2021年に2000兆円を超えました。毎年、相続によって世代間資産移転は60兆円にのぼると推定されています。
個人金融資産の一部を、ソーシャルセクターへ移転し、未来のための投資を行うことは、今後30年の「ワンジェネレーション」に課された課題です。

私たちが大切にする価値

❶ 寄付者基点：私たちはあなたの想いに耳を傾けます。
❷ 社会の周縁から始まる変革：小さき者、光が当たらない領域が発する新たな声に着目します。
❸ 社会的インパクト：社会的課題の解決と新たな価値・社会の創造を目指します。

パブリックリソース財団の特色、重点目標、重点事業

私たちの特色

1 目利き力

20年にわたるNPOの組織診断手法の開発と実践、英国のNew Philanthropy Capitalの協力を得て開発した寄付適格性評価、年間1,000件以上の助成先団体との交流を通じて培った「良い組織」「支援すべき組織」を見極める目が私たちの力です。

2 プログラム構築力

最終受益者の抱える課題とニーズ、社会経済環境、政策動向、NPOや社会的企業の活動等を踏まえ、社会課題の構造分析を行い、社会課題の解決に最も効果的な助成事業の設計を行い、寄付を最も有効に活用する方法を提案するプロフェッショナルです。

3 伴走力

NPOマネジメントに関する出版、研修事業を通じ、NPOマネジメントのコンサルタントを養成し、ネットワークを構築してきました。資金提供をして終わりではなく、各分野にわたるコンサルタントと協働して寄付先団体に伴走します。NPOや社会起業家、企業等が社会課題解決力を高め、寄付が最も効果的に活用されることを実現します。

重点事業

1 その人らしい寄付の実現

- 最初の一歩：オンライン寄付サイト Give One（▶P.24）
- 未来への投資：オリジナル基金の創設と運営（▶P.12）
- 人生の軌跡：遺言や相続による遺贈の受け入れ（▶P.14）

2 企業価値の向上と社会貢献

- 企業のCSRやSDGs実現に寄与する最適な社会貢献プログラムの実施（▶P.13）
- 社員による募金活動の推進（▶P.8）

3 調査研究、インパクト評価

- 解決が急がれる社会課題や政策が行き届かない課題は何かを探求し、他方で、どのNPO等が課題解決や新たな価値創造に果敢かつ真摯に取り組んでいるかを調査し、信頼性やプロジェクトの有効性を評価します。

これからの重点目標

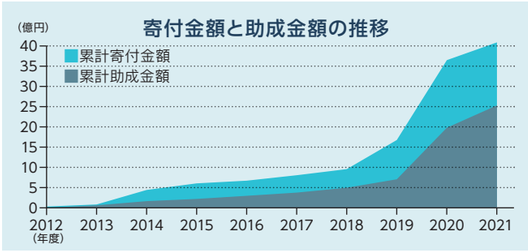
- インパクトある寄付のための、フィランソロピー・コンサルティングの強化を目指し、担い手であるフィランソロピー・アドバイザーの育成に取り組みます。
- 寄付のすそ野の一層の拡大を目指し、企業とともに職場募金システムを推進するとともに、金融機関と連携したドナー・アドバイズド・ファンドの実現を目指します。
- 資産寄付の受け入れを推進するために、みなし譲渡所得課税の特例措置を活かした株式や不動産寄付の仕組みを提供していきます。
- 寄付者が提起した社会変革の芽を大きく育てるために、NPOや社会起業家とともにアドボカシー活動を強化し、世論形成や政策実現に結び付けます。

数字で見る2021年度のパブリックリソース財団

（2022年3月31日現在）

寄付金額 447,685,044円

2013年1月に公益財団としてスタートして以来、10会計年度で累計40億9千万円を超えるご寄付をお預かりし、約25億3千万円を助成金として提供しています。



寄付件数 31,715件

多くの方々からお志のこもったご寄付をいただきました。このうち3,237件がオンライン寄付サイトGive One（ギブワン）を通じたオンライン寄付、2,960件がオリジナル基金などへの寄付、25,518件が新型コロナ緊急支援に関する寄付でした。

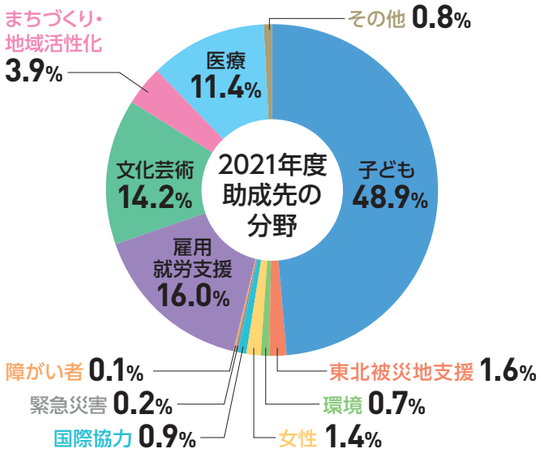
応募数（個人・団体） 1,284件

全国各地よりたくさんのご応募をいただきました。このうち610件が新型コロナ緊急支援に関するオリジナル基金へのご応募でした。

寄付金からの助成金額 539,388,055円

（休眠預金活用制度による助成と現物助成は含まず）

いただいたご寄付は、個人への奨学金やNPOなどの団体への助成金として提供されました。子ども、東北被災地支援、環境や女性など幅広い分野の活動を後押ししています。



Give One認証登録団体数 202団体

Give Oneを通じて、パブリックリソース財団とNPOのネットワークがさらに充実しました。

助成対象団体数 577団体

Give Oneによる助成や前年度からの継続助成を含め、全国の577団体と助成事業を進めています。このうち261件が新型コロナ緊急支援に関する助成先となります。

コンサルティング件数 6件

パブリックリソース財団の特色のひとつが、NPOへのコンサルティングサービスです。本年度も6団体への組織診断や組織基盤強化のコンサルティングを行ない、団体の活動とさらなる成長を支援しました。

掲載メディア 新聞25紙、雑誌2冊 テレビ2局、ラジオ9局

パブリックリソース財団の動きをメディアがキャッチし、記事として掲載いただく機会が増大しました。その他ネットニュースでも多くの記事が掲載され、財団の取り組みが広く発信されました。

設置基金数 33基金

多様なテーマをもった基金を続々と設立しています。今年度も7の基金を新たに設立しました。このうち、新型コロナ緊急支援に関する基金は2となります。

物品寄贈数 113件

AED基金を通じて、1台のAEDを寄贈しました。株主優待品を活用する優活プロジェクトを通じて、83件の物品寄贈を行いました。大和証券グループ サンタチャリティプログラムを通じて、29件の物品寄贈を行いました。

奨学生数 67人

地域の金融機関との協働や個人の方からのご寄付により、多くの学生を奨学生として選定しました。

パブリックリソース財団の歩み

NPO リーダーの育成	NPOマネジメント	調査研究	評価	年 主な出来事	社会的投資	寄付の推進	CSRの推進
				2000 1月 NPO法人パブリックリソースセンターとしてスタート			
		パブリックリソースに関する基礎調査 ウイメンズファンドフォーラム		2001	SRI（企業の社会的責任投資）のための企業の社会性調査を開始		
		「パブリックリソース・ハンドブック」出版		2002		オンライン寄付 GambaNPO.netの運営開始	
	NPO組織診断ツールの開発	NPOの組織基盤強化支援に関する調査研究		2003	社債運用に関するSRIコンサルテーション		
	組織診断・コンサルティングの開始 キャパシティビルディングフォーラム			2004			
	NPOマネジメント支援コンサルタント養成講座の開始			2005			CSRインターンシップ・プログラムの運営（立教大学）
	NPOマネジメント基礎講座開始			2006			世界11ヵ国における日本企業のCSR活動の調査
		米国における寄付関連金融商品の動向に関する調査研究	企業の社会貢献活動の成果評価を開始	2007			企業の社会貢献プログラムの支援を開始
	通信講座を開始			2008 12月 公益法人改革		Give One（ギブワン）に名称を変えてリニューアル	
社会起業大学との協働		「NPO実践 マネジメント入門」出版		2009			社員募金プログラム支援を開始
「新しい公共」支援事業における社会起業家育成事業		サステナブル・インベストメント・フォーラム	企業の助成プログラムの事業評価を開始	2010			寄付つき商品の開発支援の開始
東日本大震災被災地における社会起業家育成事業	（約130名が受講）	SROIに関する調査研究		2011 3月 東日本大震災 福島原発事故 6月 新寄付税制公布		オンライン寄付 累計1億円突破	
	（組織診断30団体突破）	SROIセミナーの開催（東京・大阪）	東北の被災地支援のSROI評価	2012			
	中間支援4団体に組織診断ノウハウを移転			2013 1月 公益財団法人化 パブリックリソース財団設立		「アート&ヘルス基金」設置	企業基金「未来につなぐ ふるさと基金」を設置
			組織基盤強化事業のSROI評価	2014		財団初の個人基金「井上圭子様 メモリアル基金」設置 「ふくしま未来基金」設置 遺贈支援の開始	
			中小企業経営革新のSROI評価	2015		女性が支える女性のための「あい基金」設置	
福島の未来を切り拓く人材育成「ふくしま高塾」	（組織診断40団体突破） 福島でコンサルタント養成講座を開催	「寄付適格性」評価手法の開発		2016		オンライン寄付 累計2億円突破 「純 子ども基金」設置 「いぞう寄付の窓口」加盟団体になる	全国初 信用組合による社会貢献プラットフォーム「魚沼の未来基金」設置
	東京にてコンサルタント養成講座を開催	「寄付適格性」評価の実施	日本初のSROI認証の取得	2017		「東北3.11基金」設置 「I.H.K基金」設置 「ゆーじチャレンジ基金」設置 ValueMakerオープン 財団初の遺贈実行	顕彰事業「チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞」開始 企業基金「大和証券グループ 輝く未来へ こども応援基金」設置 企業基金「ゴールドマン・サックス基金」設置

NPO リーダーの育成	NPOマネジメント	調査研究	評価	年 主な出来事	社会的投資	寄付の推進	CSRの推進
「JWLI」日本事務局の運営開始	（組織診断50団体突破）			2018	第一勧業信用組合と包括連携協定	「Women's Social Change Fund」設置 「謝緑教育基金」設置 「佐渡水仙基金」設置 プライベートバンカー・スクールにてフィランソロピーに関するセッションを実施	株式会社パブリック不動産設立 ランドマーク税理士法人との連携協定 企業基金「MHD緊急災害支援基金」設置
「JWLI Bootcamp」の実施（日本事務局） 第一勧業信用組合「東京ソーシャルビジネス・アクセラレーター」	NPO組織診断のリニューアル	Give One（ギブワン）審査への寄付適格性評価導入	簡易版「社会的インパクト可能性評価」の開発	2019	休眠預金等に基づく事業の開始（資金分配団体）「子ども支援団体の組織基盤強化」「支援付住宅建設・人材育成事業」	「移民・難民支援基金」設置 財団初の謝緑会開催 不動産寄付の受け入れ開始 財団初の運用型基金「じゅんき教育基金」設置 あい基金ギビング・サークルの稼働 「ビックブリッジ基金」設置 「高山弘子基金」設置 「はる基金」設置	企業基金「大和証券グループ サンタチャリティプログラム」設置 「azbilみつばち倶楽部杯 E-ファンドレイジング・チャレンジ」開催
	オンラインによるNPO組織診断の実施	新型コロナに伴うNPOの課題調査		2020 新型コロナ感染拡大	休眠預金活用事業（資金分配団体）「中核的フードバンクによる地域包括支援体制」 休眠預金活用事業（資金分配団体）「コロナ禍の住宅困窮者支援事業」	Give Oneリニューアルオープン 「子ども支援団体緊急支援基金」設置 オンライン助成申請スタート 「コロナ給付金寄付プロジェクト」設置 「アーツ・ユナイテッド・ファンド」設置 「舞台芸術を未来に繋ぐ基金」設置 「Dress farm2020基金」設置 「匿名基金A」設置 「NOBUKO基金」設置	企業基金「ゴールドマン・サックス 緊急子ども支援基金」設置 企業基金「Music Cross Aid」設置 企業基金「手間いらず 観光応援基金」設置 企業基金「J-Coin基金」設置 企業基金「大和証券グループ未来応援ボンド こども支援団体サステナブル基金」設置 企業基金「東京海上日動キャリアサービス働く力応援基金」設置
			組織基盤強化助成20年間の成果評価の実施（パナソニック）	2021	休眠預金活用事業（資金分配団体）「子どもシェルター新設事業」	「ゆーじ基金ひとり親支援プログラム」設置 「女性リーダー支援基金」設置 「上村清子＆幸男結核予防基金」設置 「高田弘子基金」設置 職場募金システムの検討・開発 「渡邉利三 国際奨学基金」設置 「塩沼亮潤 大阿闍梨基金」設置	企業基金「ゴールドマン・サックス地域協働型子ども包括支援基金」設置
	NPO実践マネジメント入門通信講座リニューアル	「NPO実践マネジメント入門」第3版出版		2022 2022年10月現在	休眠預金活用事業（資金分配団体）「コロナ禍の住宅困窮者支援事業2」	職場募金システム β版運用開始 「感動体験支援基金」設置 「白い鳥ひと粒基金」設置	協力事業「Power of Choice 基金」開催

職場募金への挑戦　SDGs時代の新たな職場募金の推進

誰ひとり取り残さない社会に向けて、新しい共助の仕組みづくりとして「新しい職場募金」を推進していきます。

Public Resource PRF　PRF職場募金システム Workplace Fundraising System

新たな職場募金の経緯

休眠預金事業の資金分配団体として、支援付き住宅建設事業（▶P.10）を実施していますが、この伴走支援の一環として、民間資金の調達のために新たなオンラインによる職場募金システムの構築を図り、企業の社会貢献の一環としての職場募金を進めています。
将来的には、職場募金が民間寄付推進のための社会インフラとなることを目指すものです。

職場募金をめぐる環境変化

環境変化としては、次の3点があげられます。
❶SDGsの達成に向けて、企業が社員と共に、簡便に実施できるインパクトのある社会貢献活動が求められている
❷社会の一員としての、社員の社会性やリーダーシップ開発の必要性、特にZ世代に向けた社員教育の模索
❸クラウドやオンラインを活用した企業ごとの専用職場募金サイトの活用が可能となったこと

新しい職場募金が目指す特長～社員と企業の協働によるインパクトある社会貢献～

- 各企業のマテリアリティ、CSR方針に沿ったSDGsの関係のリアルな切り口
- 社員が負担感なく社会参画（寄付、ボランティア等）できる機会の提供
- 寄付を通じたNPOと企業の新たな協働のきっかけ
- 社員のロイヤリティ、モチベーションのアップ
- ソーシャルな消費者、顧客をひきつける企業イメージの向上

クラウドサービスを活用した新しい職場募金システムの構築・運営

- 世界最大の職場募金組織United Way Worldwideの協力のもとそのノウハウをモデルとして、日本版の職場募金システムを構築
- 企業ごとのマテリアリティ、CSR方針に沿ってカスタマイズされた個別・専用の社会貢献サイト
- SDGs達成に向けた社内プラットフォームとしての活用も可能
- 「お金で応援、活動で応援、言葉で応援」など、手軽に誰でも社会貢献に一歩が踏み出せる仕掛けの搭載
- 寄付先について、おすすめプロジェクトの表示のほか、多様なNPO等から寄付先を選択して寄付することも可能

団体の認証システム

寄付を託す先として重要なのは、信頼できる組織であることに加えて、社会変革に効果的に取り組む団体であることです。弊財団ではそのような団体を発掘し認証するために、NPCのフレームワーク（※）をベースとした認証システムを開発し、毎年審査を行っています。現在は認証を受けた200以上の団体が、オンライン寄付サイトGive One（ギブワン）に掲載されています。
「寄付先を選んで今すぐ寄付したい」「まとまった寄付を基金にプールして関心のある分野の団体に寄付していきたい」「寄付の税制優遇を受けられるようにしたい」など、企業や個人のみなさまの寄付に関するご要望に応えています。

※イギリスのシンクタンクであるNew Philanthropy Capitalが開発した、優れたNPOであるかを確認するためのフレームワークです。取り組むべき社会課題に対して、効果的な事業を行う組織であるか（社会的インパクト）、寄付を確実に活かす組織であるか（信頼性）、という2つの視点で4つの領域（目的、効果的な実践、人、財政と運営）が構成されています

寄付適格性認証の項目

〈領域1〉目的	①ビジョンとミッションはニーズに応えているか ②目標を達成するための優れた戦略を持っているか	③活動は戦略を反映しているか ④成果を出しているか
〈領域2〉効果的な実践	⑤学び改善するために情報を活用しているか ⑥自分たちが達成することは何か、明確になっているか	⑦正しく評価を行っているか ⑧評価の結果を公開しているか
〈領域3〉人	⑨優れたリーダーシップがあるか ⑩優れた人材を採用し、やる気を引き出しているか ⑪ガバナンスはしっかりしているか	⑫プログラムの利用者も団体の活動にうまく巻き込んでいるか ⑬健全な組織文化があるか
〈領域4〉財政と運営	⑭必要な資金を十分に確保できているか ⑮財政運営は優れているか	⑯業務管理は優れているか ⑰すべてのリソースを効率的に活用できているか

認証の方法

団体応募 → **組織審査委員会**
- 源 由理子氏（明治大学ガバナンス研究科研究科長・専任教授）
- 粉川 一郎氏（武蔵大学社会学部メディア社会学科教授、同大学グローバル・データサイエンスコース主任）
- 鴨崎 貴泰氏（NPO法人日本ファンドレイジング協会常務理事）

→ **プロジェクト審査委員会**
- 渡辺 元氏（公益財団法人助成財団センター プログラム・ディレクター）
- 古瀬 繁範氏（NPO法人地球と未来の環境基金理事長・事務局長）
- 西田 治子氏（一般社団法人Women Help Women代表理事、オフィス・フロネシス代表）

→ 財団による登録決定

休眠預金の活用

弊財団は、休眠預金活用制度の資金分配団体として、2019年度に通常枠2事業、2020年度に通常枠1事業とコロナ緊急枠1事業、2021年度に通常枠1事業、さらに2022年度は通常枠1事業、コロナ緊急枠1事業が採択され、運用しています。
これまでの基金運営や助成プログラムの経験と、社会的課題のリサーチを踏まえて、今、解決を求められる喫緊の社会的課題を抽出し、その課題解決に取り組むNPO等の的確な選定に取り組んでいます。

舞い上がれ 社会を変える みんなの力
休眠預金を活用した事業です

いずれの事業においても、全国各地において先進的な事業を展開しているNPO等の実行団体に対して助成金による資金支援をしながら、プログラムオフィサーと専門家やコンソーシアム構成団体によるコンサルティングや評価支援などの伴走支援を行っています。また、伴走支援の一環として、民間資金の調達のために、オンラインによる新たな職場募金システムの構築・運用を進めています。
各事業は着実に成果を挙げつつあります。国民の財産である休眠預金の活用という視点からも、国民の負託に応えることができるように支援を続けてまいります。

子ども支援団体の組織基盤強化

本事業は、子ども支援に取り組む団体の組織基盤強化事業を支援することで、子ども支援のプログラムやサービスの量や質が向上し、5～10年後には最終受益者である子どもの状況が改善される社会環境となっていくことを目指すものです。
2021年度は実行団体4団体に対して、組織基盤強化のための資金助成と伴走支援を行いました。

受入助成金額……20,633,171円（2021年度分、PO関連経費、評価関連経費含む）
助成額……19,667,200円（2021年度分、コロナ追加助成、評価関連経費含む）
実行団体
- NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい
- 認定NPO法人ブリッジフォースマイル
- 認定NPO法人発達わんぱく会
- 一般社団法人無限

実行団体の事業実施期間……2020年4月～2023年3月

支援付き住宅建設・人材育成事業

本事業は、無料低額宿泊所の新基準に対応する改修・建替え費用を助成すると同時に、質の高い生活支援人材の育成を通じ、「住まい」と「生活支援」をセットで提供するソーシャルビジネスのビジネスモデル構築を支援するものです。2021年度は実行団体3団体に対して主に住宅整備費の資金助成と伴走支援を行いました。

受入助成金額……110,107,474円（2021年度分、PO関連経費、評価関連経費含む）
助成額……106,034,941円（2021年度分、評価関連経費含む）
実行団体
- NPO法人自立支援センターふるさとの会
- 認定NPO法人抱樸
- NPO法人ワンファミリー仙台

実行団体の事業実施期間……2020年11月～2023年3月

中核的フードバンクによる地域包括支援体制

本事業は、食支援の担い手となっている各地域のフードバンクのうち、地域の食支援ネットワークの中核となる団体の基盤強化を行います。これにより団体の継続的な食品・資金調達につなげ、地域の食支援を行う他団体等と連携関係をつくることを通じ、県域レベルの包括的な食支援の体制構築を目指します。
2020年度には本事業の資金分配団体として選定され、2021年に助成対象団体の公募・審査を行い、5団体を実行団体として選定しました。

受入助成金額……157,958,718円（2020年度～2022年度分、PO関連経費、評価関連経費含む）
助成額……105,148,517円（2021年度～2022年度分、評価関連経費含む）
応募件数……20件
実行団体
- 認定NPO法人フードバンク山梨
- NPO法人フードバンクTAMA
- 企業組合労協船橋事業団フードバンクちば
- 公益社団法人フードバンクかながわ
- NPO法人フードバンクネット西埼玉

実行団体の事業実施期間……2021年7月～2024年3月

コロナ禍の住宅困窮者支援事業

本事業は、新型コロナウイルス対応緊急支援助成事業として採択されたもので、新型コロナの影響で住まいや居場所を失い、生活の立て直しが必要な人を対象にした事業です。「住まい」と「就労支援を含む自立支援」をセットで提供する社会的事業の構築を、住宅物件取得のための初期投資へ資金提供することで支援し、その後の持続可能な支援付き住宅提供システムの構築を目指すものです。
2021年度は、公募・審査で決定した実行団体4団体に対して、住宅整備費の資金助成と伴走支援を行い、1年間の事業期間を終了しました。

受入助成金額……502,999,762円（2021年度分、PO関連経費、評価関連経費含む）
助成額……378,915,321円（2021年度分、評価関連経費含む）
応募件数……15件
実行団体
- 一般社団法人Colabo
- 社会福祉法人共生福祉会
- NPO法人POPOLO
- NPO法人ささえる

実行団体の事業実施期間……2021年9月～2022年2月

子どもシェルター新設事業　※子どもシェルター全国ネットワーク会議とのコンソーシアム

本事業は2021年度通常枠・草の根活動支援事業全国ブロックです。虐待など、親による安定した養育環境がない10代後半の子ども達が「今夜泊まるところがない」という過酷な状況に置かれたとき、唯一の緊急避難先となる民間の「子どもシェルター」の新設を支援します。

助成額……1団体あたり上限1,700万円
2021年度採択団体（4団体）
- 多摩に子どもシェルターを！準備会
- 高知子どもシェルター設立準備会
- 福井に子どもシェルターをつくる会
- NPO法人シェきらり

オリジナル基金®
※2020年7月13日付けで商標登録されました

あなたの想いを、社会で実現するために

結婚記念、退職、古希や米寿、相続や遺言による寄付など、人生の節目に寄付をしたい。企業の新商品発表、周年記念事業などの折に社会貢献をしたい。そのような寄付者のさまざまな想いを形にする、オリジナル基金を推進しています。

志を活かすオリジナルプログラムの設計

弊財団では、継続的に社会貢献したいという方のお志をかなえるために、新規に財団を設立するのと同様の機能を持たせることのできる「基金」の設立でサポートをしています。基金は100万円から創設できます。ご希望の名称を付けられるほか、ご寄付いただく方の想いを基金に表すことができます。

- 個人の方も、法人の方も創設いただけます。
- ご希望の名称をお付けいただけます。
- 弊財団へのご寄付は税制優遇の対象となります。
- ご希望によって、寄付者の基金設立に寄せる想いやご家族の歴史を、パンフレットやビデオにまとめます。
- まとまった額のオリジナル基金の場合は、複数年にわたる助成を設計することができます。
- 支援の形は「経済的に困難な子どもたちへの奨学金」「NPO等への資金助成」「熱心に活動する若手リーダーへの顕彰」など様々なご要望についてご相談をお受けしています。

オリジナル基金創設の流れ

寄付者の思いをうかがう → 社会課題のリサーチ → プログラム策定 → 支援先の募集・発掘 → 審査会 → 支援開始 具体的な支援先の決定 → 報告

フィランソロピー・コンサルティング

社会貢献の想いを形にする

弊財団では、社会貢献を考える個人、企業の方、寄付や遺贈をサポートする弁護士や税理士等の専門家や金融機関がお持ちになるさまざまなご質問、ご要望におこたえして、お志の実現をサポートしています。

- 想いを実現できる最適な寄付先はどこだろうか？
- オリジナル基金を創設したい！
- 遺贈寄付にまつわるさまざまなご相談
- 不動産や株式などの資産寄付を考えている。
- 弁護士や税理士など遺贈寄付に習熟した専門家を紹介してほしい！
- 一般財団、社団をつくりたい。
- 既存の財団の改善や運営受託
- 公益法人化に向けての助言、支援
- 助成プログラムの見直し、制度設計、実施支援
- 企業の社会貢献プログラムの設計や運営の受託
- 社員募金、社員ボランティア、プロボノプログラムを実現したい！
- 購買連動型寄付（コーズ・リレーテッド・マーケティング）の企画、実施支援 など

ご提案する社会貢献活動の例

- NPOや社会的企業への助成金提供
- 個人に対する奨学金制度
- 個人や団体を顕彰する表彰制度
- ボランティアやスタディツアーの実施
- NPOや社会的企業の組織基盤強化のためのコンサルタント派遣や研修事業の実施
- 政策研究、アドボカシー、ネットワーキングの支援

設置している基金（2022年9月末現在 全37基金）

テーマ基金

- **AED・地域あんしん基金** …… AEDが地域のどこでも使えるように
- **アート＆ヘルス基金** …… ケアの現場に「生きることを支えるアート」を
- **ふくしま未来基金** …… 30年後の福島が、人々がいきいきと暮らせる地域であるように（▶P.16）
- **あい基金** …… 女性の経済的自立を目指して
- **女性リーダー支援基金** …… 女性の社会的地位の向上を目指して（▶P.19）
- **魚沼の未来基金** …… 魚沼地域の未来を切り拓く人材や団体を支援（▶P.18）
- **東北3.11基金** …… 東日本大震災で影響を受けた子どもや保護者を支援
- **Good Job！基金** …… 障がいのある人と協働した取り組みを実践する取り組みを支援

個人基金

- **ゆーじチャレンジ基金** …… 静岡県内児童養護施設出身者もしくは里親元の子女に医療福祉分野の高等教育機関進学費用を応援
- **ゆーじ基金ひとり親支援** …… ひとり親の看護師の子女を対象に高校進学・進級費用を応援
- **I.H.K基金** …… 東京の児童養護施設出身者もしくは里親元で看護師を目指す女性に高等教育機関等の進学費用を応援
- **Women's Social Change Fund** …… 女性が女性を支援するエコシステムを開発
- **謝縁教育基金** …… 未来を担う世代への恩送り
- **移民・難民支援基金** …… 日本国内の外国籍や外国にルーツをもつ人々を支援（▶P.18）
- **上村清子＆幸男 結核予防基金** …… 結核の予防や治療・研究に取り組む団体を支援（▶P.15）
- **渡邉利三国際奨学基金** …… 難民の背景を持つ若者の大学進学等を支援
- **塩沼亮潤 大阿闍梨基金** …… 厳しい暮らしに直面している子どもや生活困窮者を支援（▶P.17）
- **感動体験支援基金** …… 子どもたちへの感動体験の提供により将来的な貧困連鎖の解消を支援（▶P.17）
- **白い鳥ひと粒基金** …… 難民の背景を持つ若者の日本の高等教育機関修学を支援

企業基金

- **未来につなぐふるさと基金** …… 生物多様性の啓発プログラムの実施を支援（▶P.21）
- **大和証券グループ 輝く未来へ こども応援基金** …… 貧困の連鎖を断ち切るイノベーティブな事業開発を支援（▶P.20）
- **大和証券グループ未来応援ボンド こども支援団体サステナブル基金** …… 子ども支援団体が事業継続性を高めるための支援（▶P.20）
- **大和証券グループ サンタチャリティプログラム** …… 恵まれない子どもたちにクリスマスプレゼントを贈る
- **MHD緊急災害支援基金** …… 緊急災害にスピーディーに対応する（▶P.21）
- **ゴールドマン・サックス基金** …… 教育支援から子どもの貧困問題を解決する
- **ゴールドマン・サックス地域協働型子ども包括支援基金** …… 地域協働型子ども包括支援の継続的実践を支援（▶P.22）
- **東京海上日動キャリアサービス 働く力応援基金** …… 働くことに困難を抱える方々の就労を支援（▶P.23）

遺贈・相続財産からのご寄付によって創設された基金（▶P.14）

- **高山弘子基金** …… 日本のすべての子どもたちの健やかな成長を願って
- **佐渡水仙基金** …… 医療系人材の育成を願って
- **ビックブリッジ基金** …… 将来の子どもたちに美しい環境を継承するために
- **じゅんき教育基金** …… 相続した不動産を基に困難を抱える子どもの教育を支援
- **（仮称）森山基金** …… 遺贈による永続型の地域づくり支援基金
- **NOBUKO基金** …… 金銭的な理由で不合理な立場にある子どもたちを支援

新型コロナウイルス感染症に係る基金

- **コロナ給付金寄付プロジェクト** …… 10万円給付金を寄付に変えて団体や企業、個人を支援
- **手間いらず観光応援基金** …… 地域に貢献する宿泊業を営む中小企業、個人事業主を支援
- **MusicCrossAid-ライブエンタメ従事者支援基金-** …… エンタメを支えてきた技術者や団体を支援
- **匿名基金A** …… 光の当たらない被害者として取り残されている子どもたちを支援

人生の集大成としての寄付
遺言や相続による寄付について

達成感ある仕事、充実した家庭生活。人生のゴールデンエイジこそ、社会への貢献にお力を発揮いただくに最適なときではないでしょうか。これまでに培われた知見、資産、ネットワークを、社会をより良くするためにお使いいただくことは、人生の充実に欠かせません。
有益な社会活動へご寄付いただくことで、ご自身の資産や相続された財産を、末永く次の世代へ受け継いでいくことができます。財産を残すだけでなく、より良い社会への思いを形にして後世に伝えていくことこそ、価値ある相続ではないでしょうか。

じゅんき教育基金 ～不動産寄付により有価証券で運用する永続型基金～

じゅんき教育基金は、相続財産によって創設されたオリジナル基金で、亡くなられたご家族のご遺志に沿って、困難を抱える子どもの教育支援を行うことを目的に資金助成をしています。
寄付者からは現金ではなく、不動産によりご寄付いただきました。租税特別措置法40条を適用して受け入れたもので、弊財団でも初めての試みとなりました。受け入れた不動産は有価証券（約800万円相当）にして、その運用益を上記の公益目的事業に活用しています。2021年度は十分な運用益を確保でき、元金の約2.5%を助成金として交付することができました。

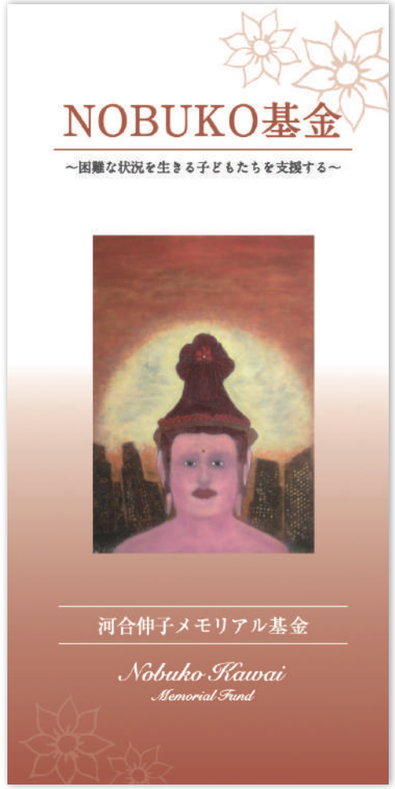
助成金額……200,000円
助成対象団体数……1団体（Give One審査済み団体から選定）
助成対象団体名……認定NPO法人キッズドア

NOBUKO基金 ～困難な状況を生きる子どもたちを支援する～

「NOBUKO基金」は、41歳の若さでご逝去された河合伸子様のご遺産を原資として、お父様からのご寄付により、伸子様のご遺志に基づき、困難を抱える子どもや家庭に育つ子どもたちを支援することを目的に設立されたオリジナル基金です。
当基金は、前向きで行動力のある子どもが育つことを願い、子どもたちが困難を乗り越え、可能性を最大限に伸ばせるように、次の3分野で先駆的な支援活動を行っているNPOに対して助成を行います。

1. シングルマザー支援を行うNPO等の活動
2. 虐待を受けた子どもに対する支援を行うNPO等の活動
3. 能力がありながら何らかの事情で能力を伸ばせない子どもに対する支援を行うNPO等の活動

助成金額……各団体年間2,500,000円
（3年間の助成総額：45,000,000円）
助成対象団体数……6団体
助成対象団体名
- 認定NPO法人女性のスペース結
- NPO法人障がい者みらい創造センター
- 認定NPO法人フリースペースたまりば
- NPO法人ファミリーステーションRin
- NPO法人グッドネーバーズ・ジャパン
- 認定NPO法人アトピッ子地球の子ネットワーク



ビックブリッジ基金 ～次世代にプラゴミのない環境を～

ビックブリッジ基金は、「美しい故郷の環境を子どもたちの世代に継承したい」という寄付者のご意志によって創設された基金です。特に「海洋プラスチックごみ問題」に強い危機感を持ち、プラゴミに関する環境保全活動等を行っている団体を継続的に支援しています。当基金は寄付者自身の将来の遺贈先としても活用され、ご自身が亡くなった後においても、長きに渡って寄付者のご遺志を果たすことを可能とする大変意義のあるオリジナル基金です。

助成金額……170,000円
助成対象団体数……1団体（Give One審査済み団体から選定）
助成対象団体名……NPO法人おおいた環境保全フォーラム

寄付者のコメント

ビックブリッジ基金　創設者
福島県在住（匿名）様

生後間もないころは心身ともに奇麗でしたが、年を経るごとに汚れてまいります。ともに、長く生きた分、多くのごみも出して自然（地球）環境も汚してまいりました。地球上で不自然に汚すのは人間だけです。汚したら掃除しましょう。
人間がモラルだけで解決することが無理なようですので、今後イノベーションとモラルの両輪で自然を回復すべく努力する必要があると考えます。

上村清子＆幸男 結核予防基金 ～母のように結核で苦しむ人を一人でも減らしたい～

「上村清子＆幸男 結核予防基金」は、長い年月を「肺結核」の療養生活に費やされた上村清子様の生涯を長く記憶にとどめたいという息子である幸男様の想いをもとに設立されました。感染症である結核症の新規感染者が、いまだに発生している現状を憂いて、結核の予防支援や治療活動に取り組んでいる医療機関や非営利団体や研究者、専門家へ助成を行うことを目的とする基金です。
当基金では特に、近年増加している外国人等の結核患者への対応が課題となっている状況を鑑み、外国人等の結核罹患者の早期発見及び診療の際の通訳サポート、継続的な診療、調査研究など、外国人等の結核に関わる活動を支援するオリジナル基金です。

助成金額……800,000円
助成対象団体数……1団体
助成対象団体名……公益財団法人結核予防会結核研究所

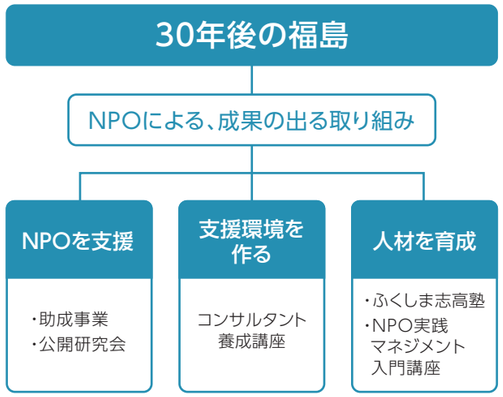
ふくしま未来基金
30年後の福島を元気にしたい

30年後の福島が、誰もがいきいきと生きていける地域となることに貢献するNPO等を支援しようと、福島県内の実業家および地域貢献をめざす企業からの寄付によって2014年に創設されました。東日本大震災から11年が過ぎる中で、福島県には原子力災害の影響が特に根強く、長期的な支援を必要としている地域もまだ残されています。その一方で、着実に復興が進むと共に、潜在的なニーズが顕著となり、地域住民を取り巻く課題は刻一刻と変化し、新たなニーズや課題への対応が迫られています。それにもかかわらず、資金支援は次々と撤退しているのが現状です。福島のNPOは「増える支援ニーズ・刻一刻と変化する支援ニーズ」と「資金の減少」というはざまに立たされています。弊財団としましても、引き続き福島の状況を注視し、今後のさらなる支援方法を検討してまいります。

寄付者のコメント

ふくしま未来基金　創設者
佐藤 勝三様

30年後の福島を元気で明るい社会にするため、パブリックリソース財団と一緒にふくしまの未来づくりに取り組み始めて、7年目となりました。ふくしま未来基金を始めとした「助成事業」や「ふくしま志高塾」、「コンサルタント養成講座」など、さまざまな方向から複合的に支援を行うことで、成果をあげはじめています。福島の団体が今後ますます元気になるように、県内の皆様と共に、福島の未来を創っていけたら良いと考えております。



※2021年度は、助成事業のみ実施

助成事業

2021年度は、人々の心と生活の復興に貢献する民間活動を支援する「まちづくり草の根助成」のみ助成事業を行いました。

まちづくり草の根助成

100万円の助成金支援に加えて、組織診断や研修の実施などの非資金的支援を提供し、団体の組織基盤強化を目指しています。

福島県助産師会の妊娠期からの子育てサロン

寄付金額（累計）……352,625,500円
助成金額……7,290,000円
応募団体数……15団体
助成対象団体数……8団体

助成対象団体名と助成対象事業名

【まちづくり草の根助成】

- いわき・双葉の子育て応援コミュニティ cotohana
  「双葉郡の子育てWEBメディア『コトハナオンライン』事業」
- 一般社団法人ヴォイス・オブ・フクシマ
  「双葉郡の子どもたちと創るふるさと復興創造のための新たな学び ～新たなルーツを持つ子どもたちと地域との記憶継承～」
- 認定NPO法人キャリア・デザイナーズ
  「生きづらさを感じているニート・ひきこもりの社会包摂プロジェクト」
- NPO法人しんせい
  「コロナ社会に対応した販売促進活動」
- しんちの子育て考え隊
  「冒険ひろば～遊びが子どもの強い心を作るプロジェクト～」
- NPO法人野馬土
  「ふくしま復興農業体験と地域の未来への食育アクション」
- 一般社団法人福島県助産師会
  「妊娠期からの子育て支援事業」
- 一般社団法人MotherTree
  「親子のはじまりを支えるプロジェクト（団体組織基盤構築事業）」

感動体験支援基金
「経験の格差」解消から貧困の連鎖を断ち切りたい

本基金は、経済的に困難な状況下にいる子どもたちの「経験の格差」に対し、多様な生き方・働き方を知り、自らの人生を自分自身で切り拓く力を得るきっかけとなる“感動体験”の提供を通じて、将来的な貧困状態の解消と世代間連鎖を断ち切ることを支援するために、平井一夫様からの寄付をもとに創設されました。本基金は、助成金による資金支援のほか、寄付者自らが子どもたちに“感動体験”を提供するイベントや講演等の実施支援を助成対象団体に対して行う点が特徴です。

基金創設者のコメント

一般社団法人プロジェクト希望　代表理事
平井 一夫様

子どもにとっての感動体験にはすごいパワーがあります。「これがしたい」「こうなりたい」という希望を持つきっかけになります。感動体験の積み重ねが自分のキャリアの礎になり、自分の人生をユニークなものにしてくれたように、ひとりでも多くの子どもに、きっかけになる、感動体験を提供していきたいと思います。

助成金額……3,000,000円（2022年度）
助成対象団体数……3団体

助成対象団体名と助成対象事業名

- 認定NPO法人エデュケーションエーキューブ（福岡県）
  「オルタナティブスクールでの感動体験充実プロジェクト」
- NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい（沖縄県）
  「日本の端から端へ！北海道スタディツアー」
- NPO法人フェアスタートサポート（神奈川県）
  「児童養護施設の子ども達への就労支援事業」

塩沼亮潤 大阿闍梨基金 ～ともに寄り添うプラットフォーム～
「慈しみ」の志に基づいて、ご恩返しの第一歩を

本基金は、荒業「大峯千日回峰行」を満行した塩沼亮潤大阿闍梨の寄付によって創設されました。創設者の「慈しみ」の志に基づいて、厳しい暮らしに直面している子どもや生活困窮者をケア、支援する非営利団体などに対して資金支援を行うものです。本基金では創設者の志に共鳴・共感いただける皆様からの“共感”寄付を受け入れている点が特徴で、共感の輪は日々広がっています。
助成金事業は2022年度以降に実施する予定です。

基金創設者のコメント

福聚山 慈眼寺住職
塩沼亮潤 大阿闍梨様

現代の日本においても、ご飯を食べるのが困難な子どもたちがいることを知り、お坊さんとして自分が何か世の中にできることがあればと、この基金を立ち上げました。
私も小さい頃、ご飯が食べられず大変な時期がありました。そのとき、周囲の人々がご飯を持ってきてくれて助けられたから今日の自分がいます。基金での活動は、そのご恩返しの第一歩だと考えています。長いようで短い人生、大きいようで小さな地球です。このコミュニティの中で皆が助け合い、喜びを分かち合う、そんな社会になることを願っています。

福聚山 慈眼寺

移民・難民支援基金
～劣悪な生活環境を強いられる移民・難民を支援～

移民・難民支援基金は、日本国内の難民や外国にルーツをもつ人々の生活環境の改善を目的に創設されたオリジナル基金です。個人からの寄付により創設された基金で、今回で3年目の助成となりました。日本国内において、個人からの寄付をもとに、この領域へ資金支援を行う取り組みは大変珍しく、非常に画期的で意義のあるオリジナル基金となります。

日本では難民認定率が極めて低く、収容所では人権侵害の問題も発生しています。国内で難民申請をしている外国人のほとんどは仕事にも就けず、病院にかかることもできず、劣悪な環境で苦しい生活を強いられています。移民においても、外国人労働者を取り巻く貧困や差別といった問題が深刻化していて、特に新型コロナによる経済活動の低迷により、職や住居を失う外国人が多く発生しています。
本基金ではそのような不遇な環境におかれる移民・難民を支援する非営利民間団体に対して資金助成を行っています。

1団体あたりの助成金……400,000円～800,000円　**助成対象団体数**……5団体
助成対象団体名
- すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク（RINK）
- NPO法人松山さかのうえ日本語学校
- NPO法人ＪＦＣネットワーク
- クルド日本語教室
- NPO法人北関東医療相談会

魚沼の未来基金
地域の宝である子どもたちを、地域で育てたい

「魚沼の未来基金」では、新潟県魚沼地域の塩沢信用組合の組合員を中心とする住民や企業の皆様からの志あるご寄付をもとに、地域の未来を担う人材に、返済不要の給付型奨学金「はばたき奨学金」を給付しています。

魚沼の未来基金の特徴

信用組合が組合員に呼びかけて寄付を募り、共に地域に貢献する社会貢献のプラットフォームを提供するのは、全国初の取り組みです。公益財団と協働し、基金を公益財団内におくことで、寄付者に税制優遇のメリットを提供すると同時に、寄付金使途の透明性を実現しています。

贈呈式の様子

基金創設者のコメント

塩沢信用組合　理事長
小野沢 一成様

ふるさと納税は、自治体からの返礼品を目当てにした「カタログショッピング」的な様相を呈している。同じ寄付でも見返りを求めない善意によるもの。この善意の輪は地域内は勿論、多方面に広がりつつある。この気運がもっと高まることを期待したい。ボランティア活動に参加して、地域の人たちと直接かかわることの喜びを子どもたちは感じてくれている。卒業後は、世界へ羽ばたきいずれ故郷に恩返しするような人に育ってほしい。

基金への支援の広がり

当基金は塩沢信用組合の組合員の方以外にも、新潟にルーツのある方や基金の活動に感銘を受けられた方など、全国からご寄付をいただいています。2021年度には、当基金としては初めて相続財産からのご寄付の受け入れを行いました。地域の子どもたちを支援したいという個人のお志の受け皿として、本基金を選定されました。

寄付金額……17,366,300円
奨学金総額……第5期：2,850,000円
第6期：828,000円
（新1年生に対する入学準備金のみ）
卒業祝金：140,000円
応募者数……61名
奨学生数……第5期：48名 / 第6期：61名

女性リーダー支援基金 ～一粒の麦～
女性の社会的地位向上に自ら一石を投じたい

石川清子様の発案により、日本における意思決定過程への女性の一層の参画を通じ、女性の社会的地位向上を図ることを目指して設立されました。男女格差を国別に比較する「ジェンダーギャップ指数2022」では、日本は146ヶ国中116位、主要7ヶ国（G7）で最下位となっています。政治参画や経済的機会などにおける構造化された男女格差を是正するためには、意思決定に参画する女性リーダーを増やすことが急務であるという石川様の思いから、女性リーダーシップ開発やビジョンの実現を支援することを目的に、女性リーダーの創生に貢献いたします。

※本基金の副題である「～一粒の麦～」とは、一粒の麦は地に落ちることによって無数の実を結ぶという聖書の言葉から、女性の社会的地位向上に自ら一石を投じたいという石川様の思いを表しています

3年間で15～20人に、活動奨励金を支給

支援対象を「政治家志望者」「社会活動の実践者」「社会起業家志望者」「女性のためのアクションリサーチの企画・実践者」の4分野に分け、自薦による応募者を募集しました。2022年度は幅広い年齢層から99名の応募があり、厳正なる審査の結果、さまざまな分野でリーダーを目指す9名の女性が選出されました。

基金創設者のコメント

石川 清子様
私の寄付がこれほど大きな反響を呼び、うねりとなって、私に思いもよらぬ喜びをもたらせてくれるとは、全く想像できませんでした。しかし、それは多くの人達のこうした問題への関心の強さを示す証でもあり、そのことにも大変勇気付けられました。まずは一歩一歩“女性の社会的地位の向上”を図るしかありません。そのための女性リーダーを早急に、しかし着実に育てるべきだと考えています。若い皆さん方に期待しています。“ガラスの天井”をつき抜け、思いを貫いてほしいと思います。

次世代女性リーダーを支援する、さまざまな活動

支援対象者、および応募者に対して、さまざまな非資金的支援を実施。女性リーダーを目指す者同士の横のつながりを形成し、相互学習（ピア・ラーニング）の機会を設けることで、一層の活動結果をあげることを目指します。
- 支援対象者、応募者、寄付者を対象とした「勉強会」※定期的に開催
- 支援対象者が相互に学びあう「交流ミーティング」※年1回開催
- 新たに「メンター制度」を創設 ※対象は支援対象者のみ
- 積極的な広報活動（記者会見、プレスリリース、WEBサイト、SNS発信等）
- ファンドレイズ強化のためクラウドファンディングに挑戦、等

2021年度
授与式の様子

助成金額……5,000,000円（2021年度）
9,000,000円（2022年度）
応募人数……137名（2021年度）／ 99名（2022年度）
支援対象者……5名（2021年度）／ 9名（2022年度）

審査委員会
審査委員長
- 上野 千鶴子氏（東京大学　名誉教授／認定NPO法人ウィメンズ・アクション・ネットワーク　理事長）

審査委員
- 白井 智子氏（NPO法人新公益連盟　代表理事）
- 浜田 敬子氏（ジャーナリスト／Business Insider Japan エグゼクティブ・アドバイザー）
- 土井 香苗氏（国際人権NGOヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表）※2022年度～

支援対象者 ※50音順
〈2021年度〉
- ウィム サクラ氏（株式会社+base）
- 斎藤 明日美氏（一般社団法人Waffle）
- 濵田 真里氏（Stand by Women）
- 能條 桃子氏（一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN）
- 吉岡 マコ氏（NPO法人シングルマザーズシスターフッド）

〈2022年度〉
- 井田 奈穂氏（選択的夫婦別姓・全国陳情アクション）
- 風間 暁氏（NPO法人ASK社会対策部）
- 河野 恵美子氏（大阪医科薬科大学一般・消化器外科）
- 仲本 千津氏（株式会社RICCI EVERYDAY）
- 那須野 あやか氏（株式会社マチノタネ）
- 咸 多栄氏（bgrass株式会社）
- 福田 和子氏（#なんでないの プロジェクト）
- 町田 彩夏氏（一般社団法人パリテ・アカデミー）
- 森崎 めぐみ氏（一般社団法人日本芸能従事者協会）

大和証券グループ　輝く未来へ　こども応援基金

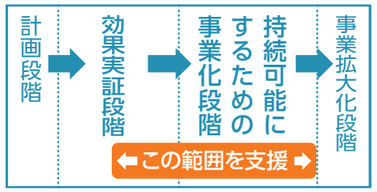
深刻な社会問題・子どもの貧困の連鎖を防ぐ

株式会社大和証券グループ本社の持続可能な社会の実現に向けて貢献する活動の一環として、貧困状況下にある子どもの環境改善や貧困の連鎖を防止することを目的に創設されました。子どもの人生への意欲を育み将来の貧困リスクを低減する先駆的な事業が、効果的で継続的なものになるための事業開発を支援し、子どもの貧困対策におけるイノベーションを応援します。

貧困の連鎖を断ち切る、イノベーティブな事業開発を応援

当基金は、子どもを支援する新しく挑戦的な仕組みを、さらに受益者を増やすことができるよう、持続可能な事業モデルとなるまでの開発段階を支援する、ユニークな助成事業です。助成金の給付される3年間に、事業性やインパクト拡大のための仕組みづくりを行い、自律できるように支援を行います。本年度は、団体の既存の活動をマニュアル化する取り組みや、他地域に支援を展開するための事業構築を行う取り組み等、2つの事業の継続支援を行いました。

NPO、社会的企業の発展段階



寄付金額……2,450,819円
助成金額……6,700,000円（前年度までの寄付を含む）
助成対象団体数……2団体（継続団体）
助成対象団体名と助成対象事業名
- NPO法人パノラマ（神奈川県）「校内居場所カフェ運営者・実施者人材育成の事業開発」
- NPO法人フェアスタートサポート（神奈川県）「児童養護施設を対象とした地域密着型就労支援の事業開発」

大和証券グループ未来応援ボンド こども支援団体サステナブル基金

～コロナ禍や今後発生しうる感染症・災害に備えて～

株式会社大和証券グループは、貧困状況下にある子どもの環境改善や貧困の連鎖防止のため、新型コロナによる緊急事態を受け「大和証券グループ未来応援ボンド こども支援団体サステナブル基金」を2020年度に創設しました。

アフターコロナを見据えて

本基金は、新型コロナのような感染症の流行や、昨今の豪雨災害、また今後予期される首都直下型地震・南海トラフ地震等の自然災害の発生時においても、子どもが必要な支援を継続的に受けることができるよう、子ども支援団体が平時より団体運営の持続可能性とレジリエンスを高めることを支援します。アフターコロナを見据え、事業や組織の基盤整備を行うユニークな助成事業です。

寄付金額……34,166,667円　**助成金額**……24,500,000円　**助成対象団体数**……7団体
助成対象団体名と助成対象事業名
- NPO法人eboard(兵庫県)「個人向け寄付サイトの制作とファンドレイジング強化」
- NPO法人ウィーズ(千葉県)「全国の家庭環境に悩む子どもたちに寄り添い続けるための事業ノウハウ共有と支援者ネットワークの構築」
- 認定NPO法人ACE(東京都)「子ども支援者の能力向上ワークショップ・プログラム開発」
- 認定NPO法人SOS子どもの村JAPAN(福岡県)「事業拡大局面に伴うWEBサイトの全面改訂および効果検証の仕組みを導入したファンドレイジング強化」
- 認定NPO法人CPAO(大阪府)「オンラインを活用した、生活困窮を抱える親子に対するアウトリーチ強化と支援者へのファンドレイジング強化」
- NPO法人Chance For All(東京都)「奨学制度の原資となる個人寄付のオンライン募集強化」
- 認定NPO法人山口せわやきネットワーク(山口県)「こども食堂等の寄付や物資等受取サポートシステム構築」

未来につなぐふるさと基金

企業・中間支援・NPOがそれぞれの強みを活かし、生物多様性の大切さを訴える

キャノンマーケティングジャパン株式会社より、使用済みカートリッジ回収数やコピー用紙販売数に応じたご寄付をいただいて運営しています。キャノングループ、弊財団、日本自然保護協会が協力して、生物多様性保全の活動を行う団体を支援し、広く市民に向けた啓発に取り組みました。

2021年度は、79の市民参加型プログラムに計1,573名が参加しました。

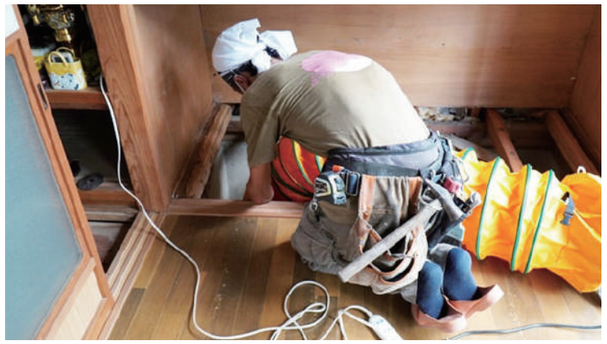
寄付金額……9,510,250円
助成金額……2,500,000円
協働団体数……継続5団体
【継続団体】
- NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム（東京都）
  「守れ！北限のトビハゼ ごみで埋まる泥干潟救出大作戦」
- のまはら（奈良県）
  「里地里山の農地保全によって永続できる自然と人との調和」
- 一般社団法人自然再生と自然保護区のための基金（奈良県）
  「学びと実践の谷まるごと里のいきもの自然保護区プロジェクト」
- NPO法人Peace & Nature（兵庫県）
  「SDGsサスティナブルな未来へ！自分たちで無農薬な食を作り、環境について学ぼう！」
- NPO法人グラウンドワーク三島（静岡県）
  「『水の都・三島』の原風景・原体験を未来につなごう！源兵衛川・松毛川『ふるさとの川と森』づくり」

MHD緊急災害支援基金

自然災害の甚大な被害に備える

MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社のCSR社会貢献に関する取組みとして、2018年度より「MHD緊急災害支援基金」を立ち上げ、自然災害発生時の被災地支援活動への迅速な助成を行っています。平時に定期的なご寄付を基金に積み上げ、「特定非常災害」に指定されるような大きな災害発生時に現地に赴いて緊急支援活動を行うGive One登録団体に助成することで、迅速な支援が可能になっています。

2021年度は、2021年7月・8月に日本各地で発生した豪雨災害において、浸水などの被害を受けた方々を支援するために、認定NPO法人ジャパン・プラットフォームに50万円の助成を行いました。



浸水した床下の乾燥作業（ジャパン・プラットフォーム提供）

寄付金額……3,000,000円
助成金額……500,000円
助成対象団体数……1団体
助成対象団体名と助成対象事業名
- NPO法人ジャパン・プラットフォーム
  「2021年豪雨への緊急災害支援」

ゴールドマン・サックス地域協働型子ども包括支援基金

～困難を抱える子どもと早期に出会い・繋がり・支える仕組みを地域でつくる～

ゴールドマン・サックス地域協働型子ども包括支援基金は、全国の子どもたちを支える実践者の応援を行っていきたいという想いから、ゴールドマン・サックスの寄付をもとに設立されたものです。
基金運営には、弊財団と、地域で“子どもと出会い・繋がり・支える”子ども包括支援に取り組んできた認定NPO法人Learning for All（以下、LFA）が協働して取り組みます。
本基金は、地域特性に即した「地域協働型子ども包括支援」の継続的実践をめざして体制構築、組織基盤強化、活動の強化や支援拡充に取り組む団体に対し、資金助成を行うと共に、LFAによる伴走支援を提供するものです。

目指すのは、困難な子どもを見過ごさず、地域で見守り支える仕組みをつくること

本基金では地域で困難を抱えた子どもと早期に出会い・繋がり・支える包括的な体制を構築し、「地域協働型子ども包括支援」を実現することを目的としています。この目的に沿って事業に取り組む団体を支援します。
「地域協働型子ども包括支援」とは、虐待、教育格差など、経済的困窮に付随して複雑な困難に置かれている子どもたちが、地域の中で見過ごされることなく、早期に適切な支援場所に繋がり、見守られ・支えられていく仕組みを作ることです。地域で大人の支援ネットワークをつくり、子どもたちへの包括的な支援を提供することを目指しています（※対象の子どもの年齢は主に6～18歳を想定しています）。

基金創設者のコメント

ゴールドマン・サックス証券株式会社　代表取締役社長
持田 昌典様

“皆さんの活動を応援しています”

認定NPO法人Learning for Allがこれまで取り組んできた地域協働型子ども包括支援の仕組みが、本基金を通じて全国に展開されることを大変うれしく思っています。子どもの貧困問題はさまざまなステークホルダーが関わり、その解決は容易ではありませんが、同じ目的意識をもって取り組まれている全国の支援団体の皆さん同士がネットワークを作り、問題意識やノウハウを共有することで、大きく前進すると信じています。ひとりでも多くの子どもたちとつながり、早期に支援を届けられるよう、皆さんの活動を応援しています。

基金協働運営団体のコメント

認定NPO法人Learning for All　代表理事
李 炯植様

“地域に合わせた「地域協働型子ども包括支援」の実現へ”

「地域協働型子ども包括支援」に取り組む子どもたちを支える実践者の応援を行っていきたいと思い、ゴールドマン・サックス様、パブリックリソース財団様と「ゴールドマン・サックス 地域協働型子ども包括支援基金」を設立しました。さまざまな地域で、地域協働型子ども包括支援が実現し、困難を抱えた子どもと早期に出会い・繋がり・支えることができていき、その実践を新たな地域の実践者に伝え、共に学び合うことで、子どもたちが早期に適切な支援に繋がることができる地域が全国に広がっていくことを願っています。

本基金は2つのタイプの助成プログラムで実施します。

助成タイプA　地域協働型子ども包括支援構築・組織基盤強化助成

地域で子どもと出会い・繋がり・支える「子ども包括支援」を実現するための運営強化・改善と組織基盤強化を応援するものです。

1団体あたりの助成金……年間上限600万円
（最大2年半で計1800万円を上限）
助成対象団体数……5団体
助成対象団体名
- NPO法人ビーンズふくしま
- 認定NPO法人STORIA
- NPO法人あっとすくーる
- NPO法人いるか
- NPO法人ダイバーシティ工房

助成タイプB　子ども支援活動強化助成

地域で子どもと出会い・繋がり・支える「子ども包括支援」を実現するために既存活動の強化や新規支援拡充を応援するものです。

1団体あたりの助成金……年間上限200万円
（単年度助成）
助成対象団体数……4団体
助成対象団体名
- 認定NPO法人抱樸
- NPO法人アスイク
- NPO法人ケアット
- 一般社団法人SGSG

東京海上日動キャリアサービス 働く力応援基金

～インクルーシブな社会の実現を目指して～

働く力応援基金は、株式会社東京海上日動キャリアサービスからの寄付により創設されたオリジナル基金で、さまざまな理由で働くことに困難を抱える方々を、働きがいのある就労につなげ、インクルーシブな社会の実現を図ることを目的に活動を行っています。全ての人が自分で職業を選ぶことができる社会、働く権利を保障される社会を目指して、「働くを求める人」の就労を促進し、社会問題の解決や新たな仕事のあり方を目指す就労支援団体を支援しています。

革新的でチャレンジングな取り組みを応援

本基金では障がい者をはじめ、生活困窮者や引きこもりの方々、さらにはシングルマザーや児童養護施設出身者など、幅広い方々に対して、それぞれのバックグラウンドに応じた独自の就労支援を行う団体を支援しています。また、単なる活動助成ではなく、従来の就労支援制度の根本原因を解決するような革新的でチャレンジングな取り組みを応援することで、社会変革を促す原動力となるような基金を目指しています。

東京海上日動キャリアサービスの事業活動

東京海上日動キャリアサービスは総合人材サービス企業であり、「『働く』を求める人へ幅広く『働く』を提供する」ことを同社の存在意義として、事業活動を展開しています。本基金を通して、“『働く』を求める人”の「働きたい」にかけ橋をつくるため、働くことに困難を抱える方々の就労を支援することで、インクルーシブな社会の実現を目指しています。

基金創設者のコメント

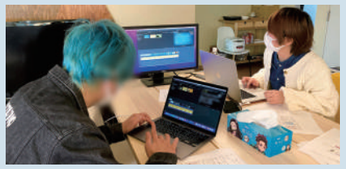
株式会社東京海上日動キャリアサービス
HRコンサルティング1部　兼　事業戦略部
畠山 洪平様

東京海上グループでは、「誰もが安心・安全に生活し、果敢に挑戦できるサステナブルな社会の実現に貢献していくこと」を目指しています。当社は東京海上グループの総合人材サービス企業として、子育てや介護、障がい、年齢、家庭環境等で“働きづらさ”を抱えながらも、「働く」を求める方々に寄り添い、誰もが「働く力」を発揮できる「インクルーシブな社会の創造」にチャレンジしていきたいと考えています。その中において「働く力応援基金」の取り組みでは、先進的かつ革新的な支援を進めている団体の皆さまから多くの学びを得、また当社がお役に立てる領域においては発展的に協働していけることを期待しています。

助成金額……43,199,200円
1団体あたりの助成金……2,650,000円～8,000,000円
応募団体数……88件
助成対象団体数……8団体

助成対象団体名
- ダンウェイ株式会社（神奈川県）
- NPO法人WEL'S（東京都）
- NPO法人Collable（東京都）
- NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい（沖縄県）
- NPO法人さいたまユースサポートネット（埼玉県）
- 認定NPO法人キッズドア（東京都）
- NPO法人サンカクシャ（東京都）
- 認定NPO法人とりで（山口県）

さいたまユースサポートネットの活動の様子


サンカクシャの活動の様子

ちゅらゆいの活動の様子

WEL'Sの活動の様子

Collableの活動の様子

ダンウェイの活動の様子

Give One（ギブワン）は、寄付適格性認証を受けた、社会を変える団体を紹介

～誰も取り残さない社会へ～

Give One（ギブワン）には、パブリックリソース財団の寄付適格性認証システムで選ばれた団体が登録されています。「収入の1%を寄付しよう」という想いを名前に込め、気軽に寄付を始められるよう、クレジットカードやコンビニ決済で1,000円から寄付ができます。

※Give Oneでの寄付は、全て寄付金控除等の税制優遇の対象となります。

	社会的インパクト	
信頼性	目的	インパクトの実践
	人	財政と管理

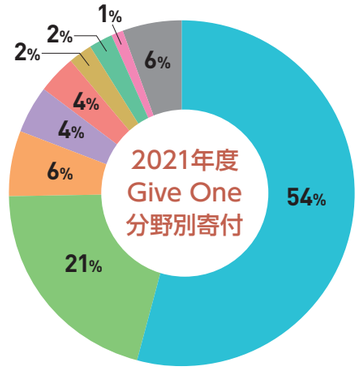
寄付適格性認証システムの審査の視点

Give One認証登録団体一覧

【国際協力】アジア・アフリカと共に歩む会 / ハンガー・フリー・ワールド / 地球の友と歩む会（LIFE） / タンザニア・ポレポレクラブ / アイキャン / 民際センター / パレスチナ子どものキャンペーン / チャイルド・ファンド・ジャパン / ブリッジ エーシア ジャパン / 日本地雷処理を支援する会（JMAS） / JHP・学校をつくる会 / シャンティ国際ボランティア会 / ジャパンハート / e-Education / ウォーターエイドジャパン / エイズ孤児支援NGO・PLAS / Earth Company（アース・カンパニー） / モザンビークのいのちをつなぐ会 / CIESF / アクセプト・インターナショナル / PHD協会 / フィリピン日系人リーガルサポートセンター / 地球市民の会 / アフリカ日本協議会 【国際協力・災害支援】シャプラニール=市民による海外協力の会 / 難民を助ける会（AAR Japan） / ピース ウィンズ・ジャパン / アムダ（AMDA） / 日本国際ボランティアセンター（JVC） / ケア・インターナショナル ジャパン / ジャパン・プラットフォーム / 日本国際民間協力会（NICCO） / グッドネーバーズ・ジャパン / JEN 【災害支援】全国災害ボランティア支援団体ネットワーク / レスキューストックヤード 【東日本大震災】グリーフサポートセンター福島れんげの会 / いわき放射能市民測定室たらちね / 桜ライン311 / MORIUMIUS / フォトボイス・プロジェクト 【環境】サンクチュアリ エヌピーオー / 霧多布湿原ナショナルトラスト / 白神山地を守る会 / 日本ウミガメ協議会 / 気候ネットワーク / A SEED JAPAN / 緑の地球ネットワーク / 国際環境NGO FoE Japan / 共存の森ネットワーク / トラ・ゾウ保護基金 / エバーラスティング・ネイチャー / 樹木・環境ネットワーク協会 / 日本クマネットワーク（JBN） / きょうとグリーンファンド / 環境=文化NGO ナマケモノ倶楽部 / JUON NETWORK（樹恩ネットワーク） / 知床自然大学院大学設立財団 / 大雪山自然学校 / more trees / 棚田LOVER'S / おおいた環境保全フォーラム / 宮古島海の環境ネットワーク / 日本生態系協会 / シマフクロウ・エイド / 森づくりフォーラム / しずおか環境教育研究会 / 荒川クリーンエイド・フォーラム / Giving Tree / 自然再生と自然保護区のための基金 / 河北潟湖沼研究所 【まちづくり・地域活性化】まちぽっと / 公害地域再生センター(あおぞら財団) / Hands On Tokyo / ReRoots / 地域・教育魅力化プラットフォーム / えんがお / コミュニティワーク研究実践センター 【地域活性化】あおもりNPOサポートセンター 【文化芸術】芸術と遊び創造協会 / 芸術家と子どもたち / エイブル・アート・ジャパン / 日本芸能実演家団体協議会 / ゲーム保存協会 / もうひとつの美術館 / みんなのことば / IMADATE ART FIELD 【教育】青少年育成支援フォーラム / 持続可能な開発のための教育推進会議（ESD-J） / リヴォルヴ学校教育研究所 / チャンス・フォー・チルドレン / TeachForJapan / 日本教育再興連盟 / クロサワ育成財団 【フリースクール】楠の木学園 / コクレオの森 / 越谷らるご / 箱崎自由学舎 ESPERANZA / ふぉーらいふ 【子育て】子どもの虐待防止ネットワーク・あいち（CAPNA） / 子どもの虐待防止センター / アトピッ子地球の子ネットワーク / アレルギー支援ネットワーク / フローレンス / チャイルド・リソース・センター / 児童虐待防止協会 / リトルワンズ / チャリティーサンタ / とりで 【子ども】SOS子どもの村JAPAN / 日本クリニクラウン協会 / ビーンズふくしま / CAPセンター・JAPAN / 日本IDDMネットワーク / チャイルドラインあいち / 難病の子どもとその家族へ夢を / みらいの森 / ぴぃかぁぶぅ / CPAO / チャイボラ / せんだいこども食堂 / PIECES / キッズドア / Learning for All / いるか / 3keys / わたぼうし教室 / ユースコミュニティー / 維新隊ユネスコクラブ / 発達わんぱく会 / アレルギーを考える母の会 / せいじゅん　たすけあい　こども食堂 / ちろる / びじっと・離婚と子ども問題支援センター / アフタースクール / 青空保育たけの子 / フリー・ザ・チルドレン・ジャパン / シャイン・オン・キッズ / 西成チャイルド・ケア・センター / FUTURE DESIGN 【子ども若者】ブリッジフォースマイル / 子どもセンター「パオ」 / 子どもシェルターモモ / フェアスタートサポート / ピアサポートネットしぶや / パノラマ / さいたまユースサポートネット / 未来図書館 / インターナショナルフォスターケア アライアンス / SGSG / サンカクシャ 【女性】女性と子ども支援センター　ウィメンズネット・こうべ / 全国女性シェルターネット / はたらく女性の全国センター(ACW2) / 石巻復興支援ネットワーク / ピルコン / GrowAsPeople / 東京YWCA / bankup / 学生人材バンク / ウィメンズアイ / Colabo 【在日外国人】神戸定住外国人支援センター（KFC） / 多言語社会リソースかながわ / カパティラン / RAFIQ(在日難民との共生ネットワーク) / ASIAN PEOPLE' S FRIENDSHIP SOCIETY 【障がい者】ぱれっと / バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター / DPI日本会議 / トゥギャザー / 長野サマライズ・センター / インフォメーションギャップバスター / たんぽぽの家 / ぽっかぽかランナーズ / 全国重症児者デイサービス・ネットワーク / モンキーマジック / 共生福祉会 【がん】5years / がん研究会 / エンパワリングブレストキャンサー 【地域福祉】hareruya / ケアット / ささえる / POPOLO / 自立支援センター ふるさとの会 / 抱樸 / ワンファミリー仙台 【ホームレス支援】ビッグイシュー基金 【フードバンク】フードバンク関西 / フードバンク山梨 / やまがた福わたし / おてらおやつクラブ / 秋田たすけあいネットあゆむ 【LGBT】MarriageForAllJapan-結婚の自由をすべての人に / 虹色ダイバーシティ 【人権】アムネスティ・インターナショナル日本 【ひきこもり】楽の会リーラ 【こころ】エンドオブライフ・ケア協会 【依存症】回復はどこにでもある 【自殺防止】国際ビフレンダーズ　東京自殺防止センター 【市民科学】高木仁三郎市民科学基金

「子ども分野」と「国際協力」に多くのご寄付をいただきました

2021年度のGive Oneは、ご寄付の半分以上が子ども分野に、約2割が国際協力分野に充てられました。子ども分野では貧困家庭の子どもに学習支援を行う「Learning for All」などに、国際協力分野ではアジア・太平洋のチェンジメーカーを支援する「アース・カンパニー」などに、多くのご寄付をいただきました。



子ども	14,410,372
国際協力	5,517,847
女性	1,603,696
子ども若者	1,181,395
環境	958,263
フードバンク	614,684
災害支援	539,844
子育て	338,929
その他	1,418,470
合計	26,583,500

企業の寄付先を社員さんが選ぶ制度に協力しました

Give Oneでは、利益の一部を社会に還元する株式会社ウェイブの制度「WWWave GOOD」に協力しています。これは、Give One登録プロジェクトの中から社員自らで寄付先を選び、選定されたすべてのプロジェクトに寄付を行う制度です。

2021年度はGive Oneの226プロジェクトから社員の皆様の投票により57のプロジェクトを選定し、投票数に応じた寄付をサポートしました。

協働企業のコメント

株式会社ウェイブ｜WWWave Corporation
広報グループ　豊島 翔様

当社は、社員の成長をテーマにした企業理念を掲げ、ITとコンテンツの力で世界にまだ無い感動の提供を目指しています。
「WWWave GOOD」は、そんな目標を実現するために始めました。
事業を展開する社会には様々な課題があります。ただ仕事をするだけでは、そこに目を向けることは難しい。成長のためには、こうした課題を見つめることも必要です。
この取り組みを通じて多角的視野を手に入れ、まだ世に無い価値を提供したいと考えています。

Special Thanks (敬称略)

賛助会員および財団運営基金へのご寄付

- 浅野 幸子
- 熊木 由次
- 株式会社大和証券グループ本社
- 茂木 義三郎
- 山岸 弘志
- 他　匿名1件

あい基金へのご寄付

- 7名のGive Oneを通じた寄付者の方
- 浅野 幸子
- 茂木 義三郎
- 他　匿名1件

アート＆ヘルス基金へのご寄付

- 茂木 義三郎

I.H.K基金へのご寄付

匿名1件

移民・難民支援基金へのご寄付

- 角 知行

魚沼の未来基金へのご寄付

- 阿部 春子
- 阿部 正二郎
- 阿部 保幸
- 石原 友三郎
- 石坂 猛
- 石田 和彦
- 井口 伸夫
- 井口 晴一
- 井口 洋一
- 飯酒盃 敏
- 飯酒盃 政己
- 有限会社石田電機商会
- 五日町信栄会
- 岩井 功
- 池田 健一
- 池田 俊郎
- 今井 美津代
- 今井 満
- 今井 良江
- 魚沼職人大學ホリノウチキャンパス
- 株式会社魚沼中央トランスポート
- 有限会社魚沼不動産
- 江口 幸司
- 有限会社エフ商会
- 江部 孝一
- 株式会社NNCホールディングス
- 遠藤 憲子
- 大竹 一夫
- 大平 悦子
- 大平 春子
- 株式会社大平きのこ研究所
- 大津 潔
- 有限会社大塚金物店
- 大塚 与四次
- 大桃 政春
- オカムラ産業株式会社
- 岡村 正樹
- 岡村 聡
- 奥村 邦夫
- 小川 一夫
- 小野澤 一成
- 小野塚 建一
- 小野塚 清一
- 小野塚 徹
- 貝瀬 一恵
- 貝瀬 哲男
- 籠田 淑子
- 風間 健
- 風巻 早苗
- 片山 茂
- 加藤 丈夫
- 笠原 貴美男
- 上村 一也
- 上村 迅
- 上村 亨
- 上村 弘之
- 上村 雄大
- 有限会社甘泉堂
- 学校法人金城学園
- 岸野 悦雄
- 北村 富男
- 桐生 厚義
- 桐生 薫
- 桐生 好雄
- 木村 盛
- 栗田 麻木
- 農事組合法人グリーンアース津南
- 桑原 かなえ
- 桑原 保夫
- 桑原 幸子
- ケンちゃん餃子新潟株式会社
- 剣持 崇紀
- 剱持 徳一
- 有限会社小出自動車工業
- 小島電設株式会社
- 国武 昭子
- 腰越 美津子
- 株式会社古城館
- 小林 克行
- 有限会社小林電設
- 駒形 和明
- 有限会社コマガタ
- 小出 健治
- 佐藤 広二
- 佐藤 千枝子
- 佐藤 久也
- 佐藤 文音
- 佐藤 正雄
- 櫻井 厚子
- 櫻井 一枝
- 司法書士櫻井三男事務所
- 塩沢生コン株式会社
- 株式会社自在館
- 株式会社庄治郎商会
- 信和会
- 菅井 英明
- 杉山 和伸
- 鈴木 省一
- 鈴木 美穂
- 須藤 昇二
- 角谷 正雄
- 関 功
- 関 久良
- 関 正晴
- 関 幸雄
- 関口 辰明
- 関茂 真一
- 関矢 幸子
- 瀬下 賢一
- 扇子 啓介
- 有限会社ソワン
- 株式会社大栄食品
- 有限会社タイガーオート
- 有限会社大地
- 大洋設備工業有限会社
- 高橋 郁夫
- 高橋 和彦
- 高橋 一已
- 高橋 清隆
- 高橋 真二
- 高橋 直樹
- 高橋 はるみ
- 高橋 久子
- 高橋 ひろみ
- 髙橋 守
- 高橋 真由美
- 株式会社高橋工務所
- 髙原 幸夫
- 高野 賢一
- 高野 正昭
- 高野 好雄
- 株式会社滝沢技研
- 滝沢 正明
- 株式会社タキノガワ
- 武淵 和昭
- 橘 美千子
- 株式会社舘野測量
- 田中 秀彦
- 田村 恵一
- 田村 正典
- 田んぼのなかのお菓子屋さん 貝瀬 尊子
- 月岡 奈津子
- 株式会社中央清掃
- 社会福祉法人長慶福祉会
- つばめの巣 根津 伸一
- 津南信栄会
- 寺尾 仁
- 常山 幸男
- 常山 能人
- 冨所 清治
- 外谷 久夫
- 外谷 光雄
- トラステック株式会社
- 遁所 博一
- 中沢 国雄
- 中澤 幸子
- 中沢 信良
- 中澤 由美
- 中澤 好夫
- 中嶋 成夫
- 中島 仁
- 中原 愛子
- 中村 貴子
- ナカヤモータース株式会社
- 長屋 昇
- 新潟産業株式会社
- 有限会社新潟大成
- 新潟砂利建設工業株式会社

- 株式会社新潟車輌サービスセンター
- 新潟商事開発株式会社
- 西野 敬太郎
- 野口 敦子
- 株式会社HEIDI
- 株式会社バイオマスレジン南魚沼
- 羽賀 謙祐
- 長谷川 匡
- 長谷川 紀子
- 長谷川 格
- 株式会社羽吹組
- 林 喜一郎
- 林 幸次
- 林 高志
- 林 秀夫
- 林 茂一
- 林 和宏
- 林 和彦
- 阪西 由紀夫
- 樋口 明
- 樋口 進
- 平賀 誠
- 笛木 宏
- 福原 政文
- 株式会社ふざわ
- 藤ノ木 靖子
- 有限会社フジミヤ
- 二渡 英勝
- 本田 節子
- 株式会社保健堂
- 星 秀幸
- 星 伸哉
- 星 美紀子
- 星野 富夫
- 松田 孝
- 株式会社丸川屋工務店
- 有限会社丸高
- 合資会社みうらや
- 水澤 行雄
- 三友 泰彦
- 有限会社ミナミエステート
- 税理士法人ミライテラス
- 村山 桂子
- 森下 八千代
- 八木 健二
- 矢口 愛
- 山岸 麗好
- 山崎 四郎
- 山田 廣正
- 山田 学
- 山田 信之
- 山田 芳男
- 山邉 裕章
- 山本 都子
- 山本 宏幸
- 山本 正和
- 株式会社山田電設
- 有限会社ユース・ファッションサポート
- 農事組合法人雪国きのこ組合
- 株式会社吉田建設
- 米山 幸子
- 吉田 絵美
- 吉原 義浩
- 吉村 和也
- 渡辺 一樹
- 渡辺 みさ子
- 他　匿名4件

エイブルアート年賀状基金へのご寄付

- 株式会社プリプレス・センター

MHD緊急震災害支援基金へのご寄付

- MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社

AED・地域あんしん基金へのご寄付

- ジョーンズ ラング ラサール株式会社

株主優待活用プロジェクト基金へのご寄付

匿名4件

Give One登録団体を指定したご寄付

- のべ3,212名のオンライン寄付の方
- 株式会社ウェイブ
- 株式会社サンセイランディック
- 東尾メック株式会社
- 他　匿名2件

Give One運営へのご寄付

- 3名のオンライン寄付の方

上村清子＆幸男 結核予防基金へのご寄付

- 上村 幸男

豪雨災害緊急助成へのご寄付

- 1,184名のYahoo!募金を通じた寄付者の方
- 26名のGive Oneを通じた寄付者の方

ゴールドマン・サックス基金へのご寄付

- ゴールドマン・サックス証券株式会社

ゴールドマン・サックス地域協働型子ども包括支援基金へのご寄付

- ゴールドマン・サックス証券株式会社

コロナ寄付プロジェクトへのご寄付

- のべ24,183名のYahoo!募金を通じた寄付者の方
- のべ232名のTRUST BANKを通じた寄付者の方
- 浅野 幸子
- 株式会社グリーンズ
- 株式会社ジャックス
- ソルダ有限会社
- 一般社団法人日本認知・行動療法学会
- 株式会社バイナル
- NUNW株式会社
- mysta株式会社
- 他　匿名3件

塩沼亮潤 大阿闍梨基金へのご寄付

- 38名のGive Oneを通じた寄付者の方
- 全国新聞東京営業部長会
- 株式会社TNK
- 株式会社プレスアート
- 他　匿名1件

女性リーダー支援基金 ～一粒の麦～へのご寄付

- 7名のGive Oneを通じた寄付者の方
- 43名のクラウドファンディングを通じた寄付者の方
- 浅野 幸子
- 石川 清子

大和証券グループ　輝く未来へ　こども応援基金へのご寄付

- 株式会社大和証券グループ本社
- 株式会社大和ネクスト銀行

大和証券グループ サンタチャリティプログラムへのご寄付

匿名1,469名

大和証券グループ未来応援ボンド こども支援団体サステナブル基金へのご寄付

- 株式会社大和証券グループ本社

ふくしま未来基金へのご寄付

- 7名のGive Oneを通じた寄付者の方
- 浅野 幸子
- 茂木 義三郎

他　匿名1件

Music Cross Aid ライブエンタメ従事者支援基金へのご寄付

- 568名のYahoo!募金を通じた寄付者の方
- 491名のGive Oneを通じた寄付者の方
- 株式会社アミューズ
- OWV 4thシングル「Get Away」応援広告企画
- 学生団体B.H.B（Broken Heart Busters）
- 株式会社クリエイティブマンプロダクション
- 産業能率大学アーティスト・プロモーション受講生一同
- 株式会社シーズレコーズ（以下所属2アーティスト）
  - THE BAWDIES
  - go!go!vanillas
- 株式会社スペースシャワーネットワーク
- ソルダ有限会社
- 徳永英明オフィシャルファンクラブ（トニーズクラブ）
- 中島 和美
- 日本たばこ産業株式会社
- 株式会社パルック
- 株式会社阪神コンテンツリンク
- 株式会社ヒップランドミュージックコーポレーション（以下所属8アーティスト）
  - サカナクション
  - KANA-BOON
  - The fin.
  - odol
  - ユアネス
  - bonobos
  - Keishi Tanaka
  - DENIMS
- VIVA LA ROCK 製作委員会
- ホリウチおやつ
- 株式会社MASH A&R（以下所属7アーティスト）
  - THE ORAL CIGARETTES
  - フレデリック
  - LAMP IN TERREN
  - Panorama Panama Town
  - Saucy Dog
  - YAJICO GIRL
  - ユレニワ
- NPO法人ブラストビートのライブイベント企画・制作団体「Minori」
- Mew Suppasitファン有志の皆様
- 株式会社UKPM（以下所属10アーティスト）
  - 銀杏BOYZ
  - [Alexandros]
  - teto
  - Helsinki Lambda Club
  - the shes gone
  - BIGMAMA
  - TOTALFAT
  - the telephones
  - POLYSICS
  - SPiCYSOL
- 株式会社U-NEXT
- ローランド株式会社
- 株式会社ロッキング・オン・ジャパン

他　匿名8件

未来につなぐふるさと基金へのご寄付

- キヤノンシステムアンドサポート株式会社
- キヤノンマーケティングジャパン株式会社

ゆーじチャレンジ基金へのご寄付

- 伊藤 裕司

ゆーじ基金ひとり親支援プロジェクトへのご寄付

- 伊藤 裕司

渡邉利三国際奨学基金へのご寄付

- 渡辺商事有限会社

助成・顕彰事業選考委員

※ご所属・お役職は委嘱当時のものです

- 赤石 千衣子（NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長）
- 明石 勝也（聖マリアンナ医科大学理事長）
- 秋葉 武（立命館大学産業社会学部教授）
- 浅井 美絵（日本ファンドレイジング協会認定講師　フリーランスファンドレイザー）
- 浅野 幸子（早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」招聘研究員）
- 朝日 雅也（公立大学法人埼玉県立大学教授）
- 雨森 孝悦（日本福祉大学名誉教授）
- 市瀬 敬子（NPO法人世田谷福祉住環境コーディネーター研究会理事長）
- 伊藤 美歩（アーツブリッジ代表）
- 井上 由起子（日本社会事業大学専門職大学院教授）

- 今村 久美（認定NPO法人カタリバ代表理事、中央教育審議会委員）
- 今村 亮（株式会社Discovery Studio代表取締役）
- 上野 千鶴子（東京大学名誉教授、認定NPO法人ウィメンズ・アクション・ネットワーク理事長）
- 鵜尾 雅隆（認定NPO法人日本ファンドレイジング協会代表理事）
- 臼井 清（合同会社志事創業社代表）
- 内田 幹夫（魚沼市長）
- 江口 八千代（NPO法人ファミリーハウス理事長）
- 大崎 麻子（NPO法人Gender Action Platform理事）
- 岡部 信彦（川崎市健康安全研究所所長）
- 小川 潔（東京学芸大学名誉教授）
- 小河 光治（公益財団法人あすのば代表理事）
- 萩原 なつ子（独立行政法人国立女性教育会館理事長、認定NPO法人日本NPOセンター代表理事）
- 奥山 千鶴子（認定NPO法人ぴーのぴーの理事長）
- 小野澤 一成（塩沢信用組合理事長）
- 小野田 峻（小野田高砂法律事務所代表弁護士）
- 小野田 全宏（静岡県ボランティア協会市民活動センター理事長）
- 河合 将生（office musubime代表）
- 影山 秀人（NPO法人子どもセンターてんぽ理事長、弁護士）
- 片山 正夫（公益財団法人セゾン文化財団理事長）
- 金井 文幸（一般社団法人日本音楽制作者連盟常務理事）
- 鴨崎 貴泰（NPO法人日本ファンドレイジング協会常務理事）
- 川那部 留理子（株式会社大和証券グループ本社経営企画部SDGs推進室長）
- 菊池 尚人（慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科特任教授）
- 岸本 幸子（弊財団代表理事・専務理事）
- 久住 剛（弊財団代表理事・理事長）
- 工藤 啓（認定NPO法人育て上げネット理事長、金沢工業大学客員教授）
- 國井 修（医師、グローバルファンド（世界エイズ・結核・マラリア対策基金）戦略・投資・効果局長）
- 小園 弥生（横浜市男女共同参画センター横浜南管理事業課長）
- 粉川 一郎（武蔵大学社会学部学部長、同学部メディア社会学科教授、同大学グローバル・データサイエンスコース主任）
- 柴沼 俊一（株式会社シグマクシス・インベストメント代表取締役社長）
- 渋谷 健司（医師WHO事務局長上級顧問、英国キングス・カレッジ・ロンドン教授）
- 白井 智子（NPO法人新公益連盟代表理事）
- 杉本 大輔（全国難民弁護団連絡会議事務局）
- 鈴木 江理子（国士舘大学文学部教授）
- 千正 康裕（株式会社千正組代表取締役）
- 高橋 紘士（東京通信大学教授、一般財団法人高齢者住宅財団顧問）
- 田崎 博道（株式会社東京海上日動キャリアサービス顧問）
- 田中 勇一（リソウル株式会社代表取締役）
- 田村 太郎（一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事）
- 中鉢 博之（NPO法人ビーンズふくしま理事）
- 土屋 佳子（日本社会事業大学専門職大学院非常勤講師）
- 寺尾 仁（新潟大学工学部建設学科准教授）
- 土井 香苗（国際人権NGOヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表）
- 土居 聡（和歌山県児童相談所常勤弁護士）
- 徳永 洋子（ファンドレイジング・ラボ代表）
- 長井 延裕（一般社団法人コンサートプロモーターズ協会常務理事）
- 中尾 洋三（味の素株式会社 サステナビリティ推進部社会グループ）
- 永倉 禮司（福島大学学長参与）
- 中村 陽一（一般社団法人 社会デザイン・ビジネスラボ代表理事）
- 西田 治子（一般社団法人Women Help Women代表理事、オフィス・フロネシス代表）
- 新田 英理子（一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク理事・事務局長）
- 浜田 敬子（ジャーナリスト、Business Insider Japanエグゼクティブ・アドバイザー）
- 林 茂男（南魚沼市長）
- 林 大介（浦和大学社会学部現代社会学科准教授）
- 番野 智行（NPO法人ETIC. ソーシャルイノベーション事業部 マネージャー/事業統括）
- 日詰 一幸（静岡大学学長）
- 平井 一夫（一般社団法人プロジェクト希望代表理事）
- 藤井 敦史（立教大学コミュニティ福祉学部教授）
- 藤沢 烈（一般社団法人RCF代表理事、NPO法人新公益連盟理事・事務局長）
- 古瀬 繁範（NPO法人地球と未来の環境基金理事長・事務局長）
- 紅邑 晶子（一般社団法人SDGsとうほく代表理事）
- 松田知佳子（ゴールドマン・サックス証券株式会社コーポレート・エンゲージメント 社会貢献担当）
- 三浦 文夫（関西大学社会学部社会学科メディア専攻教授）
- 西野 博之（認定NPO法人フリースペースたまりば理事長）
- 三島 理恵（NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえマネージャー）
- 南 壮一郎（ビジョナル株式会社代表取締役社長）
- 源 由理子（明治大学ガバナンス研究科研究科長・専任教授）
- 宮島 俊彦（兵庫県立大学客員教授、日本製薬団体連合会理事長）
- 宮本 みち子（放送大学客員教授・名誉教授、千葉大学名誉教授）
- 三好 紀子（公益財団法人日本自然保護協会自然のちから推進部）
- 村上 千里（公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会、環境委員会副委員長）
- 藻谷 浩介（株式会社日本総合研究所主席研究員）
- 森本 真也子（NPO法人子どもと文化全国フォーラム代表理事、NPO法人子ども文化地域コーディネーター協会専務理事）
- 山北 洋二（あしなが育英会顧問）
- 山崎 富一（NPO法人笑顔せたがや理事長）
- 米田 佐知子（子どもの未来サポートオフィス代表）
- 米山 広明（一般社団法人全国フードバンク推進協議会事務局長）
- 李 炯植（認定NPO法人Learning for All代表理事）
- 渡辺 元（公益財団法人助成財団センター プログラム・ディレクター）

専門家／協力機関

- 合同会社MKRマネージメント
- いずみ会計事務所
- イマニシ税理士法人
- 一般社団法人Women Help Women
- 一般社団法人ギビングフォワード
- キューフォー株式会社
- 一般社団法人居住支援全国ネットワーク
- グローシップパートナーズ株式会社
- 株式会社GENAU
- けやき野司法書士法人
- 子どもシェルター全国ネットワーク会議
- コネクティブ合同会社
- 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会
- NPO法人CRファクトリー
- 合同会社志事創業社
- 公益財団法人助成財団センター
- 一般社団法人全国レガシーギフト協会
- 一般社団法人全国フードバンク推進協議会
- ソーシャルピーアール・パートナーズ株式会社
- 株式会社トラストバンク
- 弁護士法人中村綜合法律事務所
- NPO法人日本エコツーリズムツアー
- 一般社団法人日本音楽事業者協会
- 公益社団法人日本自然保護協会
- 認定NPO法人日本ファンドレイジング協会
- 一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）
- 一般財団法人パスウェイズ・ジャパン
- 一般社団法人ふくしま連携復興センター
- プラッサ法律事務所
- 一般社団法人プロジェクト希望
- NPO法人ホームレス支援全国ネットワーク
- ほがらか信託株式会社
- 一般社団法人日本音楽制作者連盟
- モジョコンサルティング合同会社
- ヤフー株式会社
- 山田税務会計事務所
- ランドマーク税理士法人

組織体制

理事

久住　剛 ……公益財団法人パブリックリソース財団　代表理事・理事長
岸本 幸子 ……公益財団法人パブリックリソース財団　代表理事・専務理事
角方 正幸 ……株式会社リアセック　キャリア総合研究所　所長
片山 正夫 ……公益財団法人セゾン文化財団　理事長
谷本 寛治 ……早稲田大学商学学術院商学部　教授
西田 治子 ……一般社団法人Women Help Women　代表理事、オフィス・フロネシス　代表
水谷 衣里 ……株式会社風とつばさ　代表取締役
関　和實 ……公益財団法人パブリックリソース財団

評議員

秋葉　武 ……立命館大学産業社会学部　教授
跡田 直澄 ……京都先端科学大学経済経営学部　特任教授
太田 達男 ……公益財団法人公益法人協会　会長
岡野 貞彦 ……公益社団法人経済同友会　事務局長・代表理事
勝又 英子 ……公益財団法人日本国際交流センター（JCIE）専務理事・事務局長
鷹野 秀征 ……一般社団法人新興事業創出機構（JEBDA）　理事長
永久 寿夫 ……名古屋商科大学経済学部　教授
中村 陽一 ……立教大学　名誉教授
前田 和敬 ……公益財団法人日本生産性本部　理事長
山崎 富一 ……NPO法人笑顔せたがや　理事長
湯瀬 秀行 ……公益財団法人助成財団センター　主査

監事

雨森 孝悦 ……日本福祉大学　名誉教授
本郷 順子 ……本郷順子税理士事務所　代表

顧問

播磨 靖夫 ……一般財団法人たんぽぽの家　理事長
水口　剛 ……高崎経済大学　学長
由良　聡 ……エフピースクウェア　代表

スタッフ
16名

田口 由紀絵 ……事務局長
黒木 明日丘 ……チーフプログラムオフィサー・事業ディレクター
五十嵐 航 ……チーフプログラムオフィサー・総務ディレクター
渡辺　裕 ……プログラムオフィサー
渡邉 由佳 ……プログラムオフィサー
鴫原 佳奈 ……プログラムオフィサー
布川 眞理子 ……プログラムオフィサー
鎌田　淳 ……プログラムオフィサー
安倍 瑞枝 ……プログラムオフィサー
森内 大樹 ……プログラムオフィサー
田中　徹 ……アシスタントプログラムオフィサー
小澤 千津子 ……アシスタントプログラムオフィサー
谷藤　優 ……アシスタントプログラムオフィサー
関　和実 ……総務担当
蕪木 玲子 ……経理主任
小林 孝枝 ……経理担当

シニアフェロー

伊藤 美歩　臼井　清　河合 将生　佐野 直哉　藤本 貴子
今給黎 辰郎　河合 哲朗　佐藤 宏美　堤　大介　山崎 庸貴

決算報告

正味財産増減計算書 【2021年4月1日から2022年3月31日まで】

（単位：千円）

			2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
一般正味財産増減の部	1. 経常収益	事業収益	6,030	10,295	25,600	12,086	18,420
		寄付金収益	595,639	1,377,474	284,806	183,869	124,848
		受取助成金	656,450	94,648	6,433	0	0
		受取賛助会費	70	1,050	590	970	760
		その他収益	5,454	3,692	5	7	30
		合計	1,263,643	1,487,161	317,435	196,933	144,059
	2. 経常費用	事業費	1,259,268	1,482,003	310,298	192,314	147,120
		（うち支払助成金）	(1,097,303)	(1,351,910)	(219,735)	(129,894)	(73,951)
		（うち物品寄贈）	(3,308)	(3,478)	(5,533)	(1,577)	(1,402)
		管理費	4,877	6,555	5,299	4,673	4,172
		合計	1,264,144	1,488,558	315,597	196,988	151,292
	当期経常増減額		▲ 502	▲ 1,396	1,837	▲ 55	▲ 7,233
	当期経常外増減額		522	2,027	▲ 1,857	129	0
	当期一般正味財産増減額		20	630	▲ 19	73	▲ 7,233
	一般正味財産期首残高		891	260	280	206	7,439
	一般正味財産期末残高		**911**	**891**	**260**	**280**	**206**
指定正味財産増減の部	受取指定寄付金		447,685	1,962,132	718,291	160,104	133,374
		（うち受取寄付物品）	(3,885)	(4,101)	(5,948)	(744)	(0)
		（うち運用型基金有価証券への振替額）	(0)	(0)	(▲ 234,913)	(0)	(0)
	受取指定助成金		161,378	604,984	122,521	0	0
	受贈土地建物		0	0	10,105	0	0
		（うち運用型基金有価証券への振替額）	(0)	(0)	(▲ 7,893)	(0)	(0)
	運用型基金有価証券等		0	258,698	242,807	0	0
	一般正味財産への振替額		▲ 1,252,338	▲ 1,479,010	▲ 292,913	▲ 183,869	▲ 124,848
	特定資産（運用基金有価証券等へ）の振替額		0	▲ 235,126	0	0	0
	特定資産評価損益等		14,707	47,978	▲ 14,462	0	0
	当期指定正味財産増減額		▲ 628,568	1,159,655	543,541	▲ 23,765	8,526
	指定正味財産期首残高		1,975,204	815,548	272,006	295,772	287,245
	指定正味財産期末残高		**1,346,636**	**1,975,204**	**815,548**	**272,006**	**295,772**
	正味財産期末残高		1,347,547	1,976,095	815,809	272,286	295,978

貸借対照表 【2022年3月31日現在】

（単位：千円）

			2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
資産の部	1. 流動資産	現金預金	1,917	3,810	975	1,772	495
		未収金	2,570	195	1,000	119	3,468
		前払費用	630	455	637	433	632
		その他流動資産	17	1,502	30	0	0
		合計	5,134	5,964	2,643	2,325	4,596
	2. 固定資産	基本財産	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		特定資産	1,343,636	1,972,204	812,548	270,224	296,348
		その他固定資産	728	824	921	320	320
		合計	1,347,364	1,976,029	816,469	273,544	299,668
		資産合計	**1,352,498**	**1,981,993**	**819,113**	**275,870**	**304,264**
負債の部	1. 流動負債	短期借入金	0	0	0	0	2,300
		未払金	1,650	4,352	0	0	0
		未払費用	79	11	2,666	2,864	5,148
		前受収益	2,207	0	0	0	0
		預り金	948	1,534	638	719	837
		合計	4,950	5,898	3,304	3,583	8,285
		負債合計	**4,950**	**5,898**	**3,304**	**3,583**	**8,285**
正味財産の部	1. 指定正味財産	指定寄付金基金	691,147	839,100	471,115	272,007	295,772
		運用型基金	524,137	509,680	226,575	0	0
		休眠預金助成金	131,351	626,423	116,087	0	0
		その他特定資産	0	0	1,770	0	0
		指定正味財産合計	1,346,636	1,975,204	815,548	272,007	295,772
		（うち基本財産への充当額）	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)
	2. 一般正味財産	合計	911	891	260	280	206
		正味財産合計	**1,347,547**	**1,976,095**	**815,809**	**272,286**	**295,978**
負債及び正味財産合計			1,352,498	1,981,993	819,113	275,870	304,264